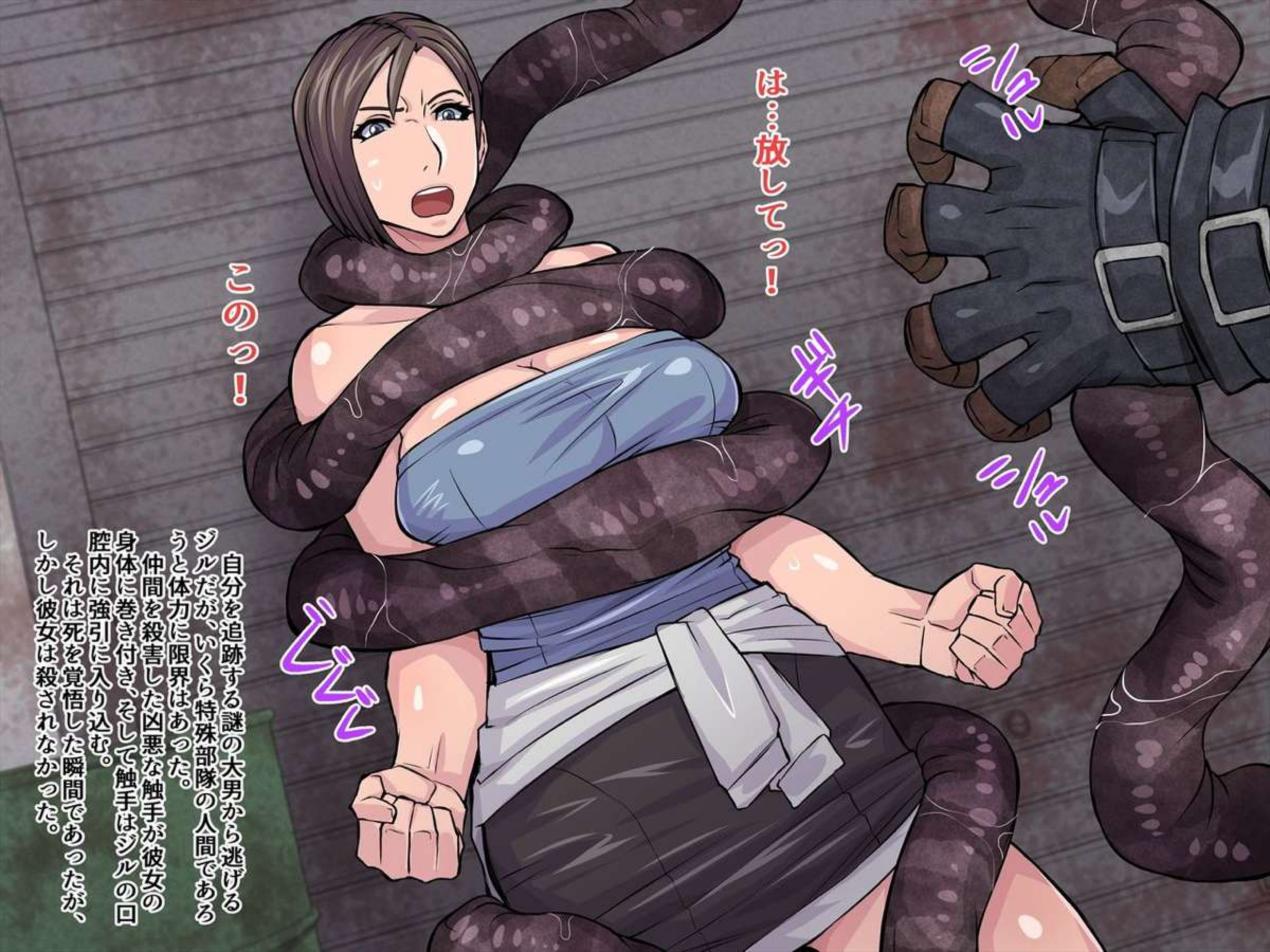


成人向

妄想
ハザード8

THE HYPERMAN



は...放してっ!

このっ!

ぐぐぐ

自分を追跡する謎の大男から逃げる
ジルだが、いくら特殊部隊の人間である
うと体力に限界はあった。
仲間を殺害した凶悪な触手が彼女の
身体に巻き付き、そして触手はジルの口
腔内に強引に入り込む。
それは死を覚悟した瞬間であったが、
しかし彼女は殺されなかった。



痛っ

ヒッヒッ

ヒッヒッ

一体何を…っ

ジュッ



ストグ
ストグ

…んぶっ!?

ストグ

じじ

んんっ!

ストグ



…んんんっ!

ズブズブ

ズブ

じじ

んむうっ!

っ



ジュジュ

んんん...

ジュジュ

んんん!!?

ジュジュ

ジュジュ



追跡者の触手からシルの体内へ、熱い
体液が注入された。
その体液は胃や腸に無理やり注ぎ込
まれ、彼女の細胞に浸透していく。
それを見届けた追跡者はシルを解放
し、その場を立ち去ってしまった。



じじ

様子がおかしい……っ

ガッ

なっ
何こいつら!?

ガッガッ

追跡者が立ち去った後、ジルは少しだけ気を失っていたようだった。熱があるような感覚で身体がふらつき、ウィルスか何かを感染させられたのではないかということに彼女に直感させた。
治療法を探さなければ……ジルはそう決意しふらつきつつも立ち上がったが、この地獄が彼女を見逃すはずもなかった。



ちよつと!

何してるの!

いったいどうなって...

モ
モ

じ
っ

ア
ッ

じ
じ
じ





ああっ!

グッ
グッ
グッ

うんうん...

本当...

グッ
グッ
グッ

ズズズ



ガク
ガク

!!

お...おめ...り

びびり

ググ
ググ

ググ
ググ
ググ







なんでこんな...っ

あ...ああっ

ゴ
ダ
ン

ビ
ン
ビ
ン

ア
ア
ア
ア
ア
ア

う…のっ

ぐんぐん

ジルを見つけたウイルス感染者のほとんどもが、彼女に対して異常な性欲を見せた。
追跡者に注入された何かが関係しているであろうことは確かだとジルは考えた。
この状況を打開するには解毒薬のよ
うなものを探すよりほかにない。
しかし、今のジルに感染者たちを振り
ほどけるような力には出せなかった。

グン

こいつらしい加減だ…っ

ぐんぐん



な…何…

ちよ…

フツフツ

フツフツ

こ…来ないで…っ

オオオ



放してっ!!

さつきから

ぐらぐら...

ぐんぐん

むぁ



さ...触るなっ!

...のり...

アッ

アッ
アッ

ああっ!

ゴッ

アッ



クククク

やめ...っ

グググ

ググ

舌が変異して...

キム

クク

ムムム...

クク



うう...うう

お...奥までっ

うう...うう

アググ

グググ

グググ

アッ

グググ



なん...でっ

あいらっ!

ゾンビなのっ

いっら...

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ
アッ
アッ

アッ





なんでゾンビなんかは…

グアッ
ム…ム…ム

ム

ム
ム
ム



次から次へと……っ

こんなところで

グズグズしてる暇は……

グズグズ

グズグズ

グズグズ

グズグズ

グズグズ



やめ...ああっ!

ああっ!

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ





やめてっ!...ああああっ!

グググ

やめてっ!

ああああっ!

グググ
グググ
グググ

アハアハ





グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

ひ
い
い
い
っ
!

ア
ッ
ア
ッ

グッ
グッ
グッ

ん
ぎ
っ
!

グ
ッ
グ
ッ
グ
ッ
グ
ッ



グ
ッ
グ
ッ



「...のおっ

ン

ン

ン

イカされ...て...

ま...また...

ン

ン

ン



私を...
玩具みたいにな...っ

く...ぞおっ

じゅん

じゅん

んん



アゲアゲ
アゲアゲ

そっちまで……っ

ズブズブ

くっくっ

ごっご

アゲアゲ



アゲアゲ

アゲアゲ

アゲアゲ

やめ...

動く...なっ

くぐぐぐ

グググ

アゲアゲ

ガッガッ



グググ
グググ
グググ

んぐらうらうっ!!

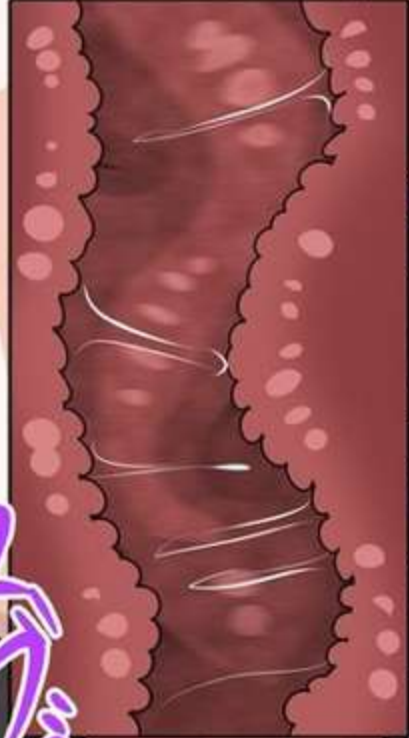
グググググ
グググググ

グググ
グググ

ん...ひっ!!

グググ
グググ
グググ

グググ
グググ



グググ
グググ

グググ
グググ

グググ
グググ





い...いやっ

こんなの...っ

ズズズ

じっ

ん

くっ



やめ...っ!!

あ...っ

は...あっ

クンクン

アハハ

アハハ



アッアッアッ!

アッアッアッ!

アッ!

アッ

アッ

アッアッアッ!

アッアッアッ!



…しばらく後

んぎゅー！

んぎゅー

んぎゅー

んぎゅー！

んぎゅー

んぎゅー

んぎゅー…んぎゅー

んぎゅー…

んぎゅー

んぎゅー

んぎゅー



んあああつ!

ツンツン

熱...いっつ

いや...あつ

ツンツンツンツン

ツンツンツン

ツンツンツン

ツンツン



なんなのこいつらっ!

ジルに対して異常な性欲を見せたのは、ゾンビだけに止まらなかった。ウイルスに感染した生物は示し合わせたかのようにジルに襲い掛かり、彼女の肉体を弄んだ。



な...っ

ま...こんな化け物まで...っ

ぐぐ

グググ

ぐぐ



入ってこないでっ!

やめ……っ

ドン!

ドン!

うああっ

ガン
ガン

ズズズ

アハ



い...やあつ

クク

く...く

クク

クク

クク

クク



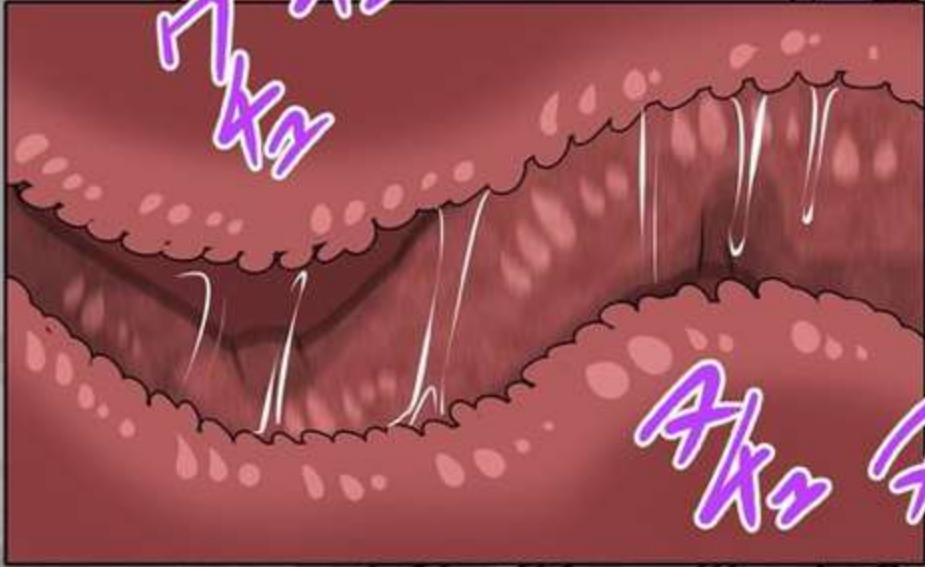
グ
グ
グ

ん
ん
ん

ひ
っ
い
っ
っ
!

グ
グ
グ

ア
ク
ア



ア
ク
ア
ク
ア

グ
グ
グ

グ
グ
グ



…しばらく後

イ…イッて…る…

やめ…っ

ん…おっ

ほっ

アッ
アッ
アッ

グッ
グッ
グッ

ビク
ビク
ビク

ビク
ビク
ビク

グッ
グッ
グッ

アッ
アッ
アッ



グッ
グッ
グッ



シムル

な…っ

何…っ…っ…っ

ギョ

ズズズズ

ジルが次に目覚めた時、空が見えないような薄暗い場所にいた。そこが何処なのかはわからなかったが、身体を這いずる不快な感触で先ほどまで自分が置かれていた状況を思い出した。そして同時に、今自分が置かれている状況をこれ以上ないほどに理解することができた。



アハ

アハ

ま...またっ

アハ

ま...

アハ

アハ



んんんんっ!

グハッ

んんん

グハッ

グハッ

グハッ

グハッ



んおっ！

んおっ！
んおっ！
んおっ！

んおっ！
んおっ！
んおっ！

んおっ！
んおっ！
んおっ！

んおっ！
んおっ！
んおっ！

んおっ！
んおっ！
んおっ！

んおっ！
んおっ！
んおっ！



ズズズ

この街の

いったいどこに

こんな化け物が……っ

ズズズ

ズズ

ジルが目覚めた時には気づかなかつたが、そこには巨大な影があった。ウイルスの影響で突然変異したミミズの成体とも言うべき姿、その巨体から繰り出される触手がジルの身体にきつく巻き付いていた。



んんんっ

グッ

んんんっ!

グッ

グッ



んんんんっ!

んんっ!

グググ

グググ

ググ

ググ



んんんっ

んんんっ

んんんっ!

んんんっ

んんんっ



んんんん！

んんんん！

んんんん！

んんんん！

んんんん！

んんんん！

んんんん！

んんんん！

んんんん！



クワッ
クワッ
クワッ

おっ
おっ

グワッ

グワッ
グワッ
グワッ

んっ

グワッ

グワッ
グワッ

グワッ
グワッ

グワッ
グワッ





ふんふん

ギョウマン

身体に力が...

入らない...っ

ぐんぐん

オオオオ



私を...どうするつもりなのっ

またお尻...に...っ

くっくっ

グッ

アッ

アッ!



あ…頭の中に…っ

ズイ

ズイ

ズイ

ズイ

ズイ
ズイ

ズイ



グニャッ

グニャッ
グニャッ
グニャッ

ズズズズズ

グニャッ
グニャッ

ひきッ

グニャッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ



おおっ

あっ

おおっ

フム
フム

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ

ズ

ズ



お...あっ

ガッガッ

んおっ

グッ

グッ



かっはっ

あっ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

ま…待って!

グロアッ

ズルン

嫌っ!

私はまだ…っ

じゅん

化け物に犯され続けて体力を消耗させていたジルは、それでもあきらめずに脱出の機会を狙っていた。しかし無情にも、ジルの身体は化け物の口の中へと引き込まれていく。



... S

... S

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



ズズズ

呼吸がっ

ウ!

ブッ

ズ

フ
フ
フ

ズ



んんん

んんん

んんん

んんん

た…助け…てっ

んんん

んんん



んんん

あう...っ

んんん

スズン

グニッ

グニッ

グニッ

グニッ

スズン



んお...おっ

ゴボ

ゴボ

ゴボ

ゴボ

や...

い...やあつ

ハハ

Aハ

ゴボ

ゴボ



あ……っ

は……あっ

う……っ

ボ……ッ

↓ ↓ ↓

↓↓ ↓

↓ ↓ ↓



ジルが追跡者に捕らわれてから今まで、数時間が経過していた。ジルの居場所を知るものは居らず、助けも期待できない場所に捕らわれ、彼女は化物の苗床と化していた。そしてこの時、街の上空には滅菌作戦を執行するために戦闘機が接近していた。



が...

クッ
クッ
クッ

グッ...

ズッ
ズッ
ズッ

クッ
クッ
クッ

グッ
グッ
グッ

ズッ
ズッ
ズッ



アッ
アッ
アッ
アッ

あ...っ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ

え...っ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



ああ……っ

ああ……っ

ズン
ズン

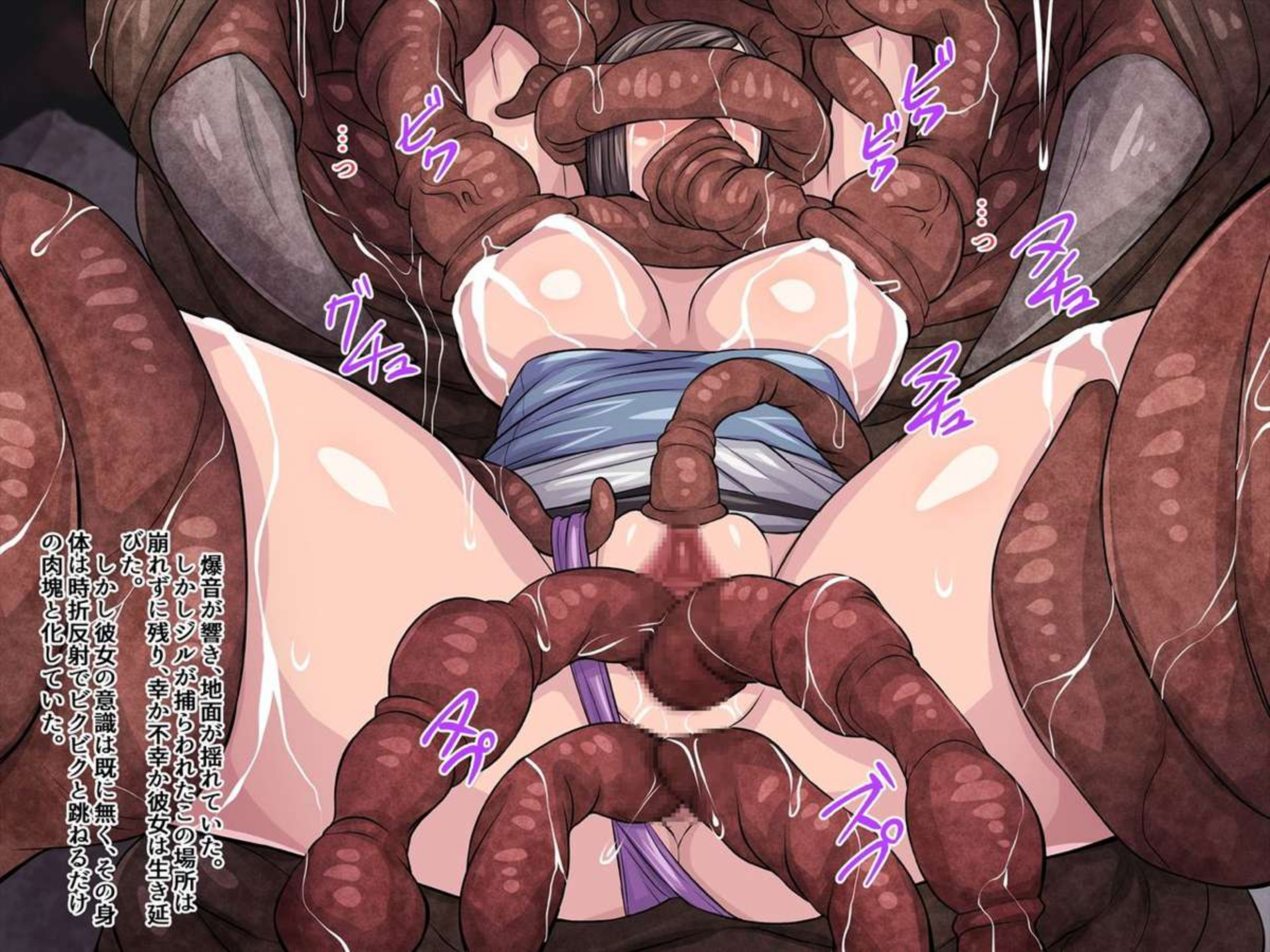
ズン
ズン

ズン

ズン
ズン

ズン

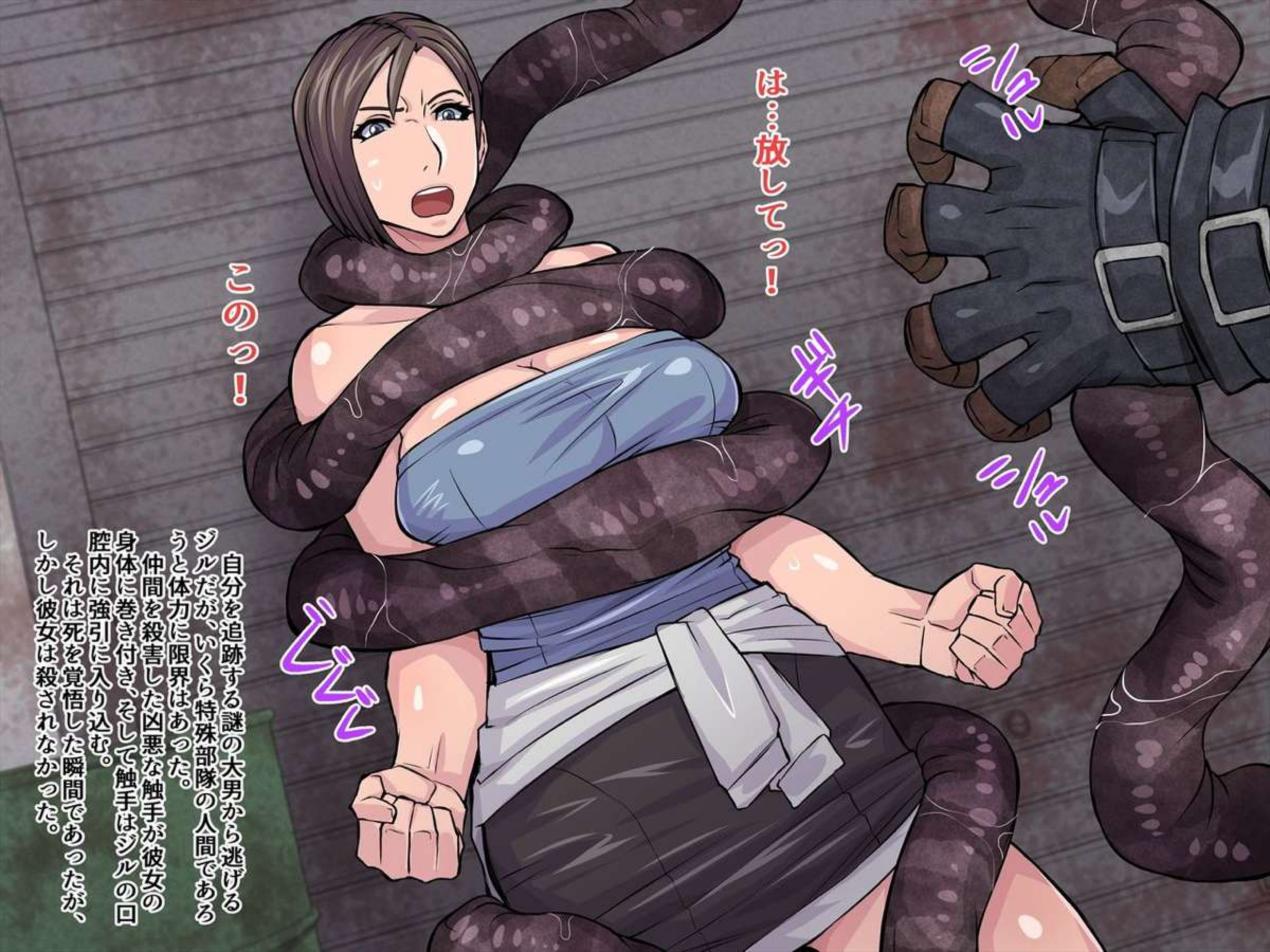
ズン
ズン



爆音が響き、地面が揺れていた。
しかしジルが捕らわれたこの場所は
崩れずに残り、幸か不幸か彼女は生き延
びた。
しかし彼女の意識は既に無く、その身
体は時折反射でビクビクと跳ねるだけ
の肉塊と化していた。



END



は...放してっ!

このっ!

ぐぐぐ

自分を追跡する謎の大男から逃げる
ジルだが、いくら特殊部隊の人間である
うと体力に限界はあった。
仲間を殺害した凶悪な触手が彼女の
身体に巻き付き、そして触手はジルの口
腔内に強引に入り込む。
それは死を覚悟した瞬間であったが、
しかし彼女は殺されなかった。



一体何を...っ

痛っ

ヒッヒッ

ヒッヒッ

ヒッヒッ



ストググ

…んぶっ!?

ストググ

じじ

んんっ!

ググ



…んんんっ!

ズブズブ

ズブ

じじ

んむうっ!

っ



グググ

んむっ!?

グ

.....

ググ

ググ

ググ

ググ



ジュジュ

ジュジュ...

ジュジュ

...んんっ!?

ジュジュ

ジュジュ



追跡者の触手からシルの体内へ、熱い
体液が注入された。
その体液は胃や腸に無理やり注ぎ込
まれ、彼女の細胞に浸透していく。
それを見届けた追跡者はシルを解放
し、その場を立ち去ってしまった。



様子がおかしい……っ

なっ
何こいつら!?

追跡者が立ち去った後、ジルは少しだけ気を失っていたようだった。熱があるような感覚で身体がふらつき、ウィルスか何かを感染させられたのではないかということを彼女に直感させた。治療法を探さなければ……ジルはそう決意しふらつきつつも立ち上がったが、この地獄が彼女を見逃すはずもなかった。



ちよつと!

何してるの!

いったいどうなって...

モ
モ

じ
っ

ア
ッ

じ
じ
じ





ああっ!

グッ
グッ
グッ

うっ
うっ
うっ...

本当...
...
...

グッ
グッ
グッ

ズブ
ズブ
ズブ



ガク
ガク

!!

お...おめ...り

びびり

ググ
ググ

ググ
ググ
ググ





なんでこんなな...っ

あ...ああっ

ゴ
ダ
ン

ハ
ッ

ビ
ン
ビ
ン

ア
ア
ア
ア
ア
ア

うっ…のっ

ぐんぐん

ジルを見つけたウイルス感染者のほとんどもが、彼女に対して異常な性欲を見せた。
追跡者に注入された何かが関係しているであろうことは確かだとジルは考えた。
この状況を打開するには解毒薬のようなものを探すよりほかにない。
しかし、今のジルに感染者たちを振りほどけるような力が出せなかった。

グン

こいつらしい加減だ…っ

ぐんぐん



な…何…

ちよ…

フワフワ

フワフワ

こ…来ないで…っ

オオオ



さつきから

はらり...!

はらり

放してっ!

むあ



さ...触るなっ!

...のり...

アッ

アッ
アッ

ああっ!

アッ

アッ



ムムム...

ククク

キュ

舌が変異して...

やめ...っ

ククク

グググ

ククク

ググ



うううううう

お…奥までっ

ズググ

じじ

ううう

ズググ

ズググ

アヒ



なん...でっ

あいらっ!

ゾンビなのっ

いらっ...

アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ

アッ
アッ



…しばらく後

アッ
アッ
アッ
アッ

ピュッ
ピュッ
ピュッ

ひっひっ!

ピュッ
ピュッ
ピュッ

い…いつまでっ

いっいっいっ!

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



あつ

が...っ

↓
ア
ア
ア

ア
ア
ア

ア
ア
ア

あつ

ア
ア
ア

ア
ア
ア



ぐじゅ

なんでゾンビなんかは…

ガッ
ム…ム…ム

ン

クニクニ



次から次へと……っ

こんなところで

グズグズしてる暇は……

じじっ

チャッ

ズズ

びび

びび



やめ...ああっ!

ああっ!

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ



くわんわん
ブクッ

ブクッ

グクッ
グクッ

し...舌が暴れて...っ

しゅっ
しゅっ

しゅっ

アッ
アッ

アッ

クッ
クッ

クッ

クッ
クッ





「...のおっ

ハハハ

ゴボゴボ

ウハ

びびび

イカされ...て...

ま...また...

ゴボゴボ

ハハハ

ウハ



私を...
玩具みたいに...っ

く...そおっ

じゅん

じゅん

ん



アゲアゲ
アゲアゲ

そっちまで……っ

ズブズブ

くっくっ

ごっご

アゲアゲ



アブリ
!!

グキッ
グキッ

ちよっ...

ン

ン



アゲアゲ

アゲアゲ

アゲアゲ

やめ……っ

動く……なっ

くさくさ

アゲアゲ

アゲアゲ

ガッガッ



んぐらうっ!!

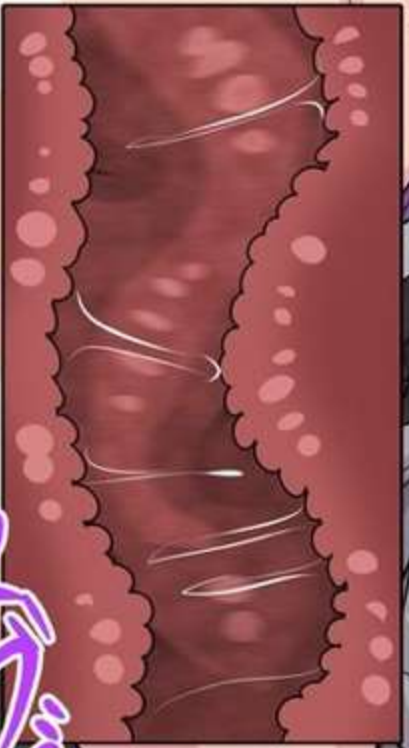
グググ
グググ
グググ

グググググ
グググググ

グググ
グググ

ん...ひっ!

グググ
グググ



グググ

グググ

グググ





い...いやっ

こんなの...っ

ズズズ

じっ

ん



やめ...っ!!

あ...っ

は...あっ

クンクン

アハハ

アハハ



アッアッアッアッ!

アッアッアッ!

アッアッ!

アッアッ

アッアッ

アッアッアッ!

アッアッアッ!



…しばらく後

んぎゅー！

んぎゅー

んぎゅー

んぎゅー！

んぎゅー

んぎゅー

んぎゅー

んぎゅー

んぎゅー

んぎゅー



んあああつ!

ツンツン

熱…いっつ

いや…あつ

ツンツンツンツン

ツンツンツン

ツンツンツン

ツンツン



なんなのこいつらっ!

ジルに対して異常な性欲を見せたのは、ゾンビだけに止まらなかった。ウイルスに感染した生物は示し合わせたかのようにジルに襲い掛かり、彼女の肉体を弄んだ。



な...っ

ま...こんな化け物まで...っ

ぐぐ

グググ

ぐぐ



入ってこないでっ!

やめ……っ

ドク!

ドク!

うああっ

グググ

グググ

ググ



い...やあつ

フン

く...んんん

フン

フン

フン

フン



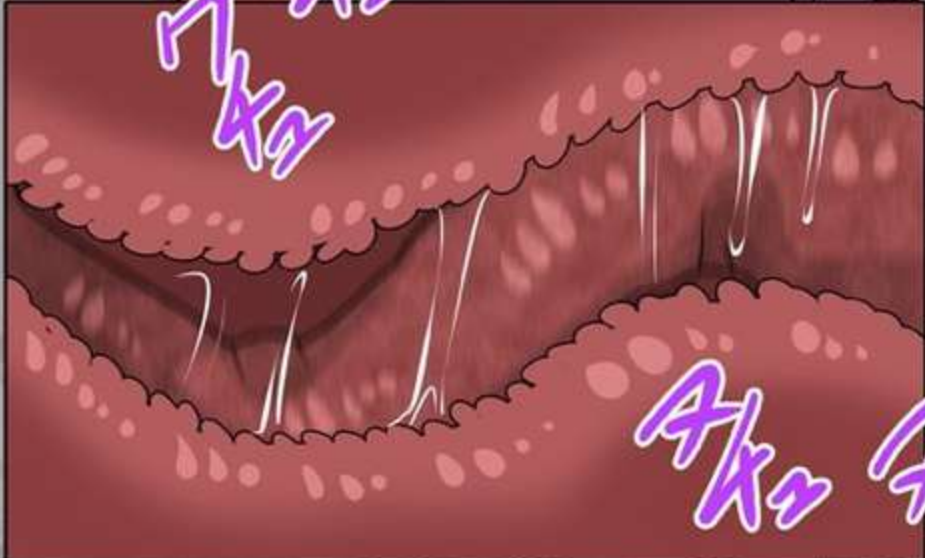
ク
ク
ク
ク
ク
ク

ん
ん
ん
ん
ん
ん

ひ
っ
い
い
っ
っ
!

グ
グ
グ
グ
グ
グ

ア
ク
ア
ク
ア
ク



ア
ク
ア
ク
ア
ク

グ
グ
グ
グ
グ
グ



シムル

な…っ

何…っ…っ…っ

ギョ

ズズズズ

ジルが次に目覚めた時、空が見えないような薄暗い場所にいた。そこが何処なのかはわからなかったが、身体を這いずる不快な感触で先ほどまで自分が置かれていた状況を思い出した。そして同時に、今自分が置かれている状況をこれ以上ないほどに理解することができた。



ま...またっ

アッ

アッ

グググ

ま...またっ

グググ

グググ



アハ

アハ

何匹いるのっ

アハ

アハ

アハ

ズズズズ



んんんんっ!

グワッ

んんん

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ





この街の

いったいどこに

こんな化け物が...っ

ズズズ

ズズズ

ズッ

ジルが目覚めた時には気づかなかつたが、そこには巨大な影があった。ウイルスの影響で突然変異したミミズの成体とも言うべき姿、その巨体から繰り出される触手がジルの身体にきつく巻き付いていた。



んんんっ

グッ

んんんっ！

グッ

グッ



んんんっ!

んんっ!

ズググ

ズググ

ズググ

ズググ



んんんっ

んぐうっ!

ズズズ

ズズズ

ズズズ



んんん!!

んんん!!

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ



ぐわ
ぐわ
ぐわ

おっ

ぐわ

ぐわ
ぐわ
ぐわ

ぐん

ぐわ

ぐわ
ぐわ

ぐわ
ぐわ

ぐわ
ぐわ



ガクガク

ガクガク

...

アハハ
アハハ
アハハ

アハハ

アハハハ



ギョウマン

ふんふん

ぐんぐん

ぐんぐん

入らない...っ

身体に力が...



私を...どうするつもりなのっ

またお尻...に...っ

くっくっ

グッ

アッ

アッ!



あ…頭の中に…っ

ズイ

ズイ

ズイ

ズイ

ズイ
ズイ

ズイ



グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

ひきつ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



あっ

おっ

おっ

おっ

スッ

スッ

スッ

スッ

スッ



お...あつ

ガッガッ

んおつ

グッ

グッ



か…はっ

あっ
ぐんぐん

ぐんぐんぐんぐん

ぐんぐんぐんぐん

ぐんぐんぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ま…待って!

グロアァァ

ズルン

嫌っ!

私はまだ…っ

じゅん

化け物に犯され続けて体力を消耗させていたジルは、それでもあきらめずに脱出の機会を狙っていた。しかし無情にも、ジルの身体は化け物の口の中へと引き込まれていく。



...

...

グッ!

グッ!

グッ!

グッ!

グッ!

グッ!



た...助け...てっ

んんん

んん

んん

んん

んん

んん



んんん

あう...っ

スズン

スズン

グニッ

グニッ

グニッ

グニッ

スズン



んお...おっ

ゴボ

ゴボ

ゴボ

ゴボ

や...

い...やあつ

ハハ

Aハ

ゴボ

ゴボ



お……

グアッ

グタタ

アッ

アッ

アッ

え……

で、数時間が経過していた。
ジルが追跡者に捕らわれてから今まで、
ジルの居場所を知るものは居らず、助けも期待できない場所に捕らわれ、彼女は化け物の苗床と化していた。
そしてこの時、街の上空には滅菌作戦を
決行するために戦闘機が接近していた。



が...

クッ
クッ
クッ

グッ...

ズッ
ズッ
ズッ

クッ
クッ
クッ

グッ
グッ
グッ

ズッ
ズッ
ズッ



ククククク
ククククク
ククククク

あ...っ

ククク

え...っ

ククククク

ククククク

ククククク



ああ……っ

ああ……っ

ズン
ズン

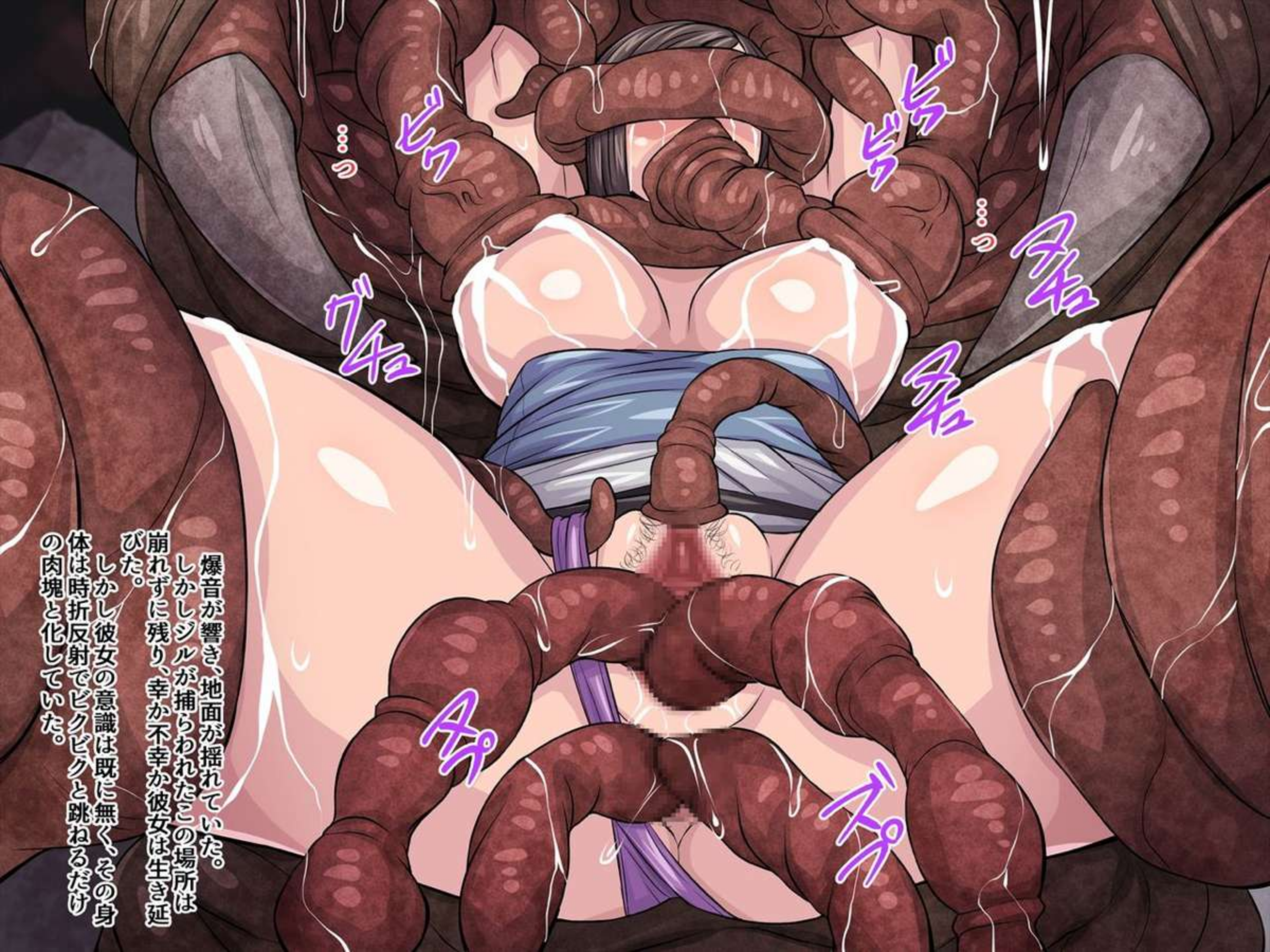
ズン
ズン

ズン
ズン

ズン
ズン

ズン
ズン

ズン
ズン



爆音が響き、地面が揺れていた。
しかしジルが捕らわれたこの場所は
崩れずに残り、幸か不幸か彼女は生き延
びた。
しかし彼女の意識は既に無く、その身
体は時折反射でビクビクと跳ねるだけ
の肉塊と化していた。



END

は……放してっ！

このっ！

ぐぐぐ

自分を追跡する謎の大男から逃げる
ジルだが、いくら特殊部隊の人間である
うと体力に限界はあった。
仲間を殺害した凶悪な触手が彼女の
身体に巻き付き、そして触手はジルの口
腔内に強引に入り込む。
それは死を覚悟した瞬間であったが、
しかし彼女は殺されなかった。

REC

一体何を…っ

ジュツ

ジュツ

…痛っ

ジュツ



●REC

スグッ

…んぶっ!?

スグッ

じゅ

んんっ!

スグッ



REC

…んんんっ!

ズッ

ズッ

ズッ

んむうっ!

ズッ



REC



追跡者の触手からシルの体内へ、熱い
体液が注入された。
その体液は胃や腸に無理やり注ぎ込
まれ、彼女の細胞に浸透していく。
それを見届けた追跡者はシルを解放
し、その場を立ち去ってしまった。

●REC

じゅじゅ

様子がおかしい……っ

ガッ

なっ
何こいつら!?

ズッ
ズッ
ズッ

追跡者が立ち去った後、ジルは少しだけ気を失っていたようだった。熱があるような感覚で身体がふらつき、ウィルスか何かを感染させられたのではないかということに彼女に直感させた。治療法を探さなければ……ジルはそう決意しふらつきつつも立ち上がったが、この地獄が彼女を見逃すはずもなかった。

●REC

いったいどうなって...

何してるの!

ちよつと!

じょじょ

モモモ

ムム

じゅん



●REC



ああっ！

グワッ
グワッ

うわ...
うわ...

本当...
本当...

グワッ
グワッ
グワッ

ズブズブ

●REC



ガク
ガク

!!

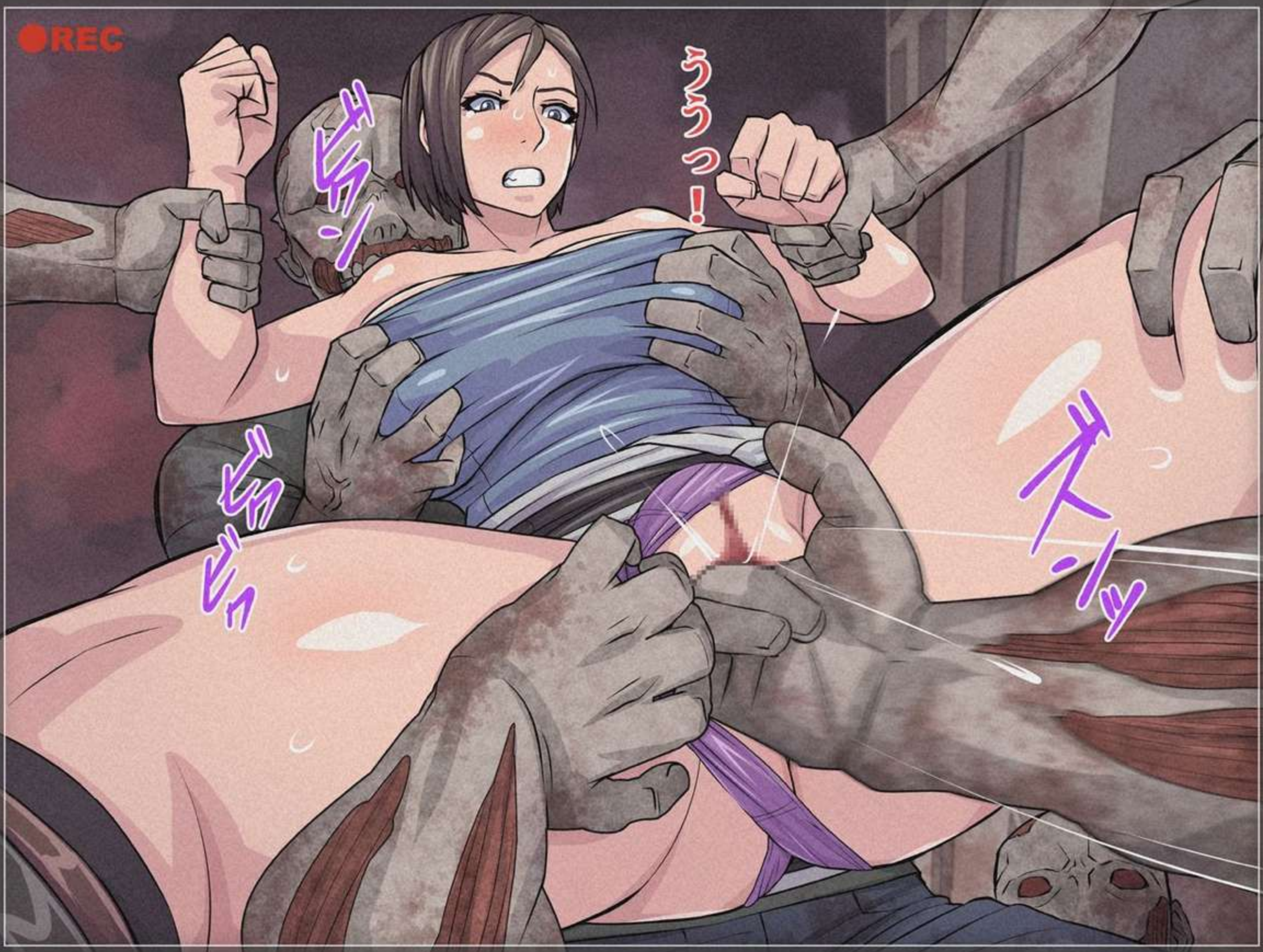
や...やめ...

びび
びび

グ
グ
グ

グ
グ
グ
グ
グ

●REC



●REC

なんでこんな...っ

ハッ

ジュンジュン

あ...ああっ

アッアッアッ

ゴリ
ダリ



●REC

「…のっ」

ぐんぐん

グマー

「こいつらしい加減に…っ」

ぐんぐん

ジルを見つけたウイルス感染者のほとんどもが、彼女に対して異常な性欲を見せた。追跡者に注入された何かが関係しているであろうことは確実だとジルは考えた。この状況を打開するには解毒薬のようなものを探すよりほかにない。しかし、今のジルに感染者たちを振りほどけるような力が出せなかった。

REC

こ…来ないで…っ

フワッ
フワッ

な…何…

ちよ…

オ
オ
オ

フワッ
フワッ



REC

放してっ!!
じい

さつきから
くらくら...

ン

むあ



REC

さ...触るなっ!

...のり...

アッ

アッ

アッ

ああっ!

アッ

アッ





ぐわぐわ

やめ...っ

ぐわぐわ

ぐわ

舌が変異して...

キュ

ぐわ

ぐわ

ぐわ



うっ...のっ

アッ

お...奥までっ

うっ...うっ

ズググ

アググ

ズググ

アッ

アッ

REC

いっくら...

ゾンビなのどっ

なん...でっ

あーいっくら!!

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ



REC

い…いつまでっ

ひっいいい!

…しばらく後

いっせー!

グッ
グッ
グッ

グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



REC



●REC

いつまで

続く...のっ

ア
ハ
ア

ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

フ
フ
フ

フ
フ
フ

んんんんん...



●REC



ぐじゅ

なんでゾンビなんかは…

ガッ
ム…ム…ム

ん

フニ
フニ

●REC



っっっ

っっっ
っっっ

グ
グ
グ

グズグズしてる暇は...

こんなところで

じ
じ
じ

次から次へと...

ズ
ズ
ズ

●REC

やめ…ああっ！

びびび

びびび

ああっ！

びびび

びびび

びびび



●REC

やめっ...あああっ!
ビクビク

やめてっ!

ああああっ!

グキョ
グキョ
グキョ
グキョ
グキョ
グキョ

フキョ
フキョ



●REC

私を…
玩具みたいに…っ

く…おっ

じ

じ

ん



●REC

アゲアゲ
アゲアゲ

そっちまで……っ

ズブズブ

くっくっ

ごっご

アゲアゲ



●REC

アブリ
!!

グキッ
グキッ

ちよっ...

アブリ



REC

アゲアゲ

アゲアゲ

アゲアゲ

やめ……っ

動く……なっ

くさくさ



アゲアゲ

アゲアゲ

ゲッゲッ

●REC

グググ
グググ
グググ

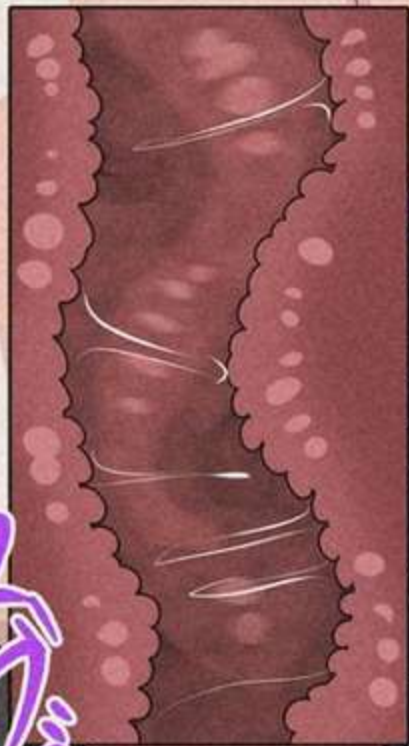
んぐらうらうっ!!

グググググ

グググ

ん……ひっ!

アゲ
アゲ
アゲ



アゲ
アゲ

グググ



い...いやっ

こんなの...っ

くっ

ズズズ

じっ

ん





は…あつ

あつあつ

あ…つ

やめ…っ!

あつあつ

あつあつ





…しばらく後

んぎゅっ!

んぎゅっ!

ブーン

んぎゅっ! んぎゅっ!

やめ…!

ブーン
ブーン
ブーン

んぎゅっ!

ブーン

んぎゅっ!
んぎゅっ!



なんなのこいつらっ!

グッ

くっ

ハッ

グッ

は、ジルに対して異常な性欲を見せたのは、ゾンビだけに止まらなかった。ウイルスに感染した生物は示し合わせたかのようにジルに襲い掛かり、彼女の肉体を弄んだ。

●REC

「……こんな化け物まで……っ」

な……っ

ぐっぐっ

ズズズズ

いっしょ



●REC

入ってこないでっ!

やめ……っ

ドン!

ドン!

うああっ

ガン
ガン

ズズズ

アハ



●REC



REC

…しばらく後

イ…イッて…る…

やめ…っ

ん…おっ

ほっ

アッ
アッ

グッ
グッ

グッ

グッ
グッ
グッ

アッ
アッ
グッ
グッ





な...っ

な...っ

何...っ

な...っ

な...っ

ジルが次に目覚めた時、空が見えないような薄暗い場所にいた。そこが何処なのかはわからなかったが、身体を這いずる不快な感触で先ほどまで自分が置かれていた状況を思い出した。そして同時に、今自分が置かれている状況をこれ以上ないほどに理解することができた。



アハ

アハ

ま...またっ

アハ

ま...またっ

アハ

アハ

アハ

アハ

何匹いるのっ

アハ

アハ

アハ

ズズズズ





んんんっ!

グニッ

んんんっ

グニッ

グニッ

グニッ

グニッ



...
ツツツ
ツツツ

んおっ!
ツツツ

ツツツ
ツツツ

ツツツ

ツツツ

ツツツ

ツツツ

ズズズ

この街の

いったいどこに

こんな化け物が……っ

ズズズ

ズズ

ジルが目覚めた時には気づかなかつたが、そこには巨大な影があった。ウイルスの影響で突然変異したミミズの成体とも言うべき姿、その巨体から繰り出される触手がジルの身体にきつく巻き付いていた。

REC

んんん

グ
グ
グ

んんん!

グ
グ
グ

ん



REC



んんんっ!

んんっ!

ズン

ズグズグ

ズン

ズン

REC

んんんっ

んんんっ

んんんっ!

んんんっ

んんんっ



REC

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!



REC



REC



ぐんぐん

ガクガク

...

アッ アッ アッ

アッ アッ

アッ アッ

●REC

入らない…っ

身体に力が…

ギョウギョウ

んんんんん

むあ

んんん



●REC

私を…どうするつもりなのっ

またお尻…に…っ

くっくっ

グッ

アッ

アッ!



●REC

あ…頭の中に…っ

ズイ

ズイ

ズイ

ズイ

ズイ
ズイ

ズイ



REC

ヒキッ

ググググ

ヒキッ

ヒキッ

ヒキッ

ヒキッ

ヒキッ

ヒキッ

ヒキッ



●REC



おおっ

あっ

おおっ

フム
フム

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ

ズ

ズ

●REC



お...あつ

ガッガッ

んおつ

ズッ

ズッ

REC

か…はっ

あっ
んんん

んんん
んんん

んんん

んんん

んんん
んんん

んんん
んんん



ま…待って！

嫌っ！

私はまだ…っ

びっ

グロアッ

化け物に犯され続けて体力を消耗させていたジルは、それでもあきらめずに脱出の機会を狙っていた。しかし無情にも、ジルの身体は化け物の口の中へと引き込まれていく。

●REC



た...助け...てっ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

●REC



んお...おっ

ぶっ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

い...やあつ

や...

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

●REC



あ...あ...あ

は...あ...あ

あ...あ...あ

あ...あ...あ

あ...あ...あ

あ...あ...あ

あ...あ...あ



ジルが追跡者に捕らわれてから今まで、
 数時間が経過していた。
 ジルの居場所を知るものは居らず、助
 けも期待できない場所に捕らわれ、彼女
 は化け物の苗床と化していた。
 そしてこの時、街の上空には滅菌作戦
 を決行するために戦闘機が接近してい
 た。



が...

クッ
クッ
クッ

あ...っ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ



ククク
ククク
ククク

あ...っ

ズズズ

ズズズ

え...っ

ズズズ

ズズズ



ああ……っ

ああ……っ

ズン
ズン

ズン
ズン

ズン

ズン
ズン

ズン

ズン
ズン

REC

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

END



は…放してっ！

このっ！

ぐぐぐ

自分を追跡する謎の大男から逃げる
ジルだが、いくら特殊部隊の人間である
うと体力に限界はあった。
仲間を殺害した凶悪な触手が彼女の
身体に巻き付き、そして触手はジルの口
腔内に強引に入り込む。
それは死を覚悟した瞬間であったが、
しかし彼女は殺されなかった。

REC

一体何を…っ

ジュッ

ジュッ

…痛っ

ジュッ



●REC

スグッ

…んぶっ!?

スグッ

じゅ

んんっ!

スグッ



REC

フッ
フッ

んむうっ!

じゅじゅ

ジュッ

…んんんっ!

ズブズブ



●REC



グッ
グッ
グッ

んむっ!?

グッ

ん...ん...ん...ん...ん...

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

REC



追跡者の触手からシルの体内へ、熱い
体液が注入された。
その体液は胃や腸に無理やり注ぎ込
まれ、彼女の細胞に浸透していく。
それを見届けた追跡者はシルを解放
し、その場を立ち去ってしまった。

●REC

じゅじゅ

様子がおかしい……っ

ガッ

なっ
何こいつら!?

ズッ
ズッ
ズッ

追跡者が立ち去った後、ジルは少しだけ気を失っていたようだった。熱があるような感覚で身体がふらつき、ウィルスか何かを感染させられたのではないかということに彼女に直感させた。
治療法を探さなければ……ジルはそう決意しふらつきつつも立ち上がったが、この地獄が彼女を見逃すはずもなかった。

●REC

いったいどうなって...

何してるの！

ちよつと！

じょじょ

モモモ

ムム

じゅん



●REC



ああっ！

グワッ
グワッ

うわうわ...

本当です...

グワッ
グワッ

ズブズブ



●REC



ガク
ガク

!!

や...やめ...!!

びびり

ググ
ググ

ググ
ググ
ググ

●REC



●REC

なんでこんな...っ

ハッ

ジュンジュン

あ...ああっ

アッアッアッ

ゴリ
ガリ



●REC

う…のっ

ぐぐぐ

こいつらしい加減に…っ

ぐぐぐ

グマー

ジルを見つけたウイルス感染者のほとんどもが、彼女に対して異常な性欲を見せた。追跡者に注入された何かが関係しているであろうことは確実だとジルは考えた。この状況を打開するには解毒薬のようなものを探すよりほかにない。しかし、今のジルに感染者たちを振りほどけるような力は出せなかった。

REC

こ…来ないで…っ

フワッ
フワッ

な…何…

ちよ…

オ
オ
オ

フワッ
フワッ



REC

放してっ!!
じい

くらくら...

さつきから

ン

むあ



さ...触るなっ!

...のり...

アッ

アッ

アッ

ああっ!

アッ

アッ





グググ

やめ...っ

グググ

ググ

舌が変異して...

キム

ググ

ムムム...

ググ



うっ...のっ

アッ
アッ
アッ

お...奥までっ

うっ...うっ

ズググ

アッ
アッ
アッ

ズググ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

REC

いっくら...

ゾンビなのどっ

なん...でっ

あーいっくら!!

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ

アッ
アッ
アッ



REC

い…いつまでっ

ひっいいい!

…しばらく後

いっせーのー!

グッ
グッ
グッ

グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



REC



●REC

いつまで

続く...のっ

ア
ハ
ア

ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

フ
フ
フ

ア
ア
ア

んんんんん...



●REC



なんでゾンビなんかは...

ぐじぐじ

ガッ
ジュジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

●REC



っっっ

っっっ
っっっ

ぐわん
ぐわん

グズグズしてる暇は...

こんなところで

じじっ

次から次へと...

ズズズ

●REC

やめ…ああっ！

グッ
グッ

びび
びび

ググ
ググ

ビ
ビ

あ
あ
あ

グ
グ
グ



●REC

やめっ...あああっ!
ビクビク

やめてっ!

ああああっ!

グキョ
グキョ
グキョ
グキョ
グキョ

フキョ
フキョ



●REC

「…のおっ

びびび

イカされ…て…

ま…また…

ハハハハ
ハハハハ

ハハハハ
ハハハハ

ハハハハ

ハハハハ

ハハハハ

ハハハハ



●REC

私を…
玩具みたいに…っ

く…おっ

じ

じ

ん



●REC

アゲアゲ
アゲアゲ

そっちまで……っ

ズブズブ

くっくっ

ごっご

アゲアゲ



●REC

アブリ
!!

グキッ
グキッ

ちよっ...

アブリ



REC

アゲアゲ

アゲアゲ

アゲアゲ

やめ……っ

動く……なっ

くさくさ



アゲアゲ

アゲアゲ

ガッガッ

●REC

グググ
グググ
グググ

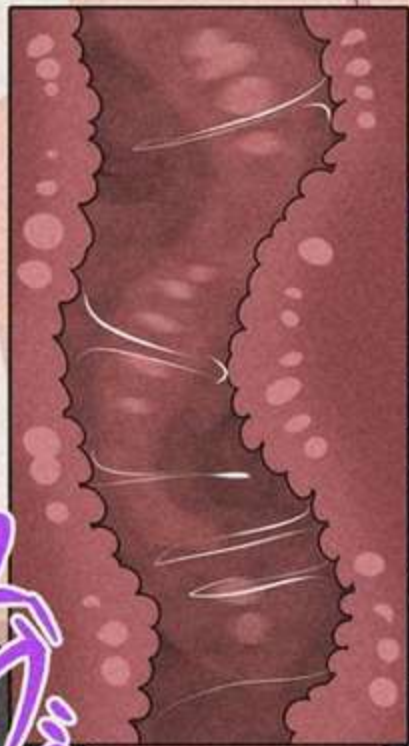
んぐらうらうっ!!

グググググ

グググ

ん……ひっ!!

グググ
グググ



グググ

グググ



い…いやっ

こんなの…っ

くっ

ズズズ

じっ

ん



は…あつ

あつあつ

あ…つ

やめ…っ！

あつあつ

あつあつ





アアアア

ウッウッウッ

ウッウッ

アアア

ウッウッウッ

ブーッブーッブーッ



…しばらく後

んぎゅー!

ブーン

ブーン

んぎゅー!

んぎゅー! んぎゅー!

やめ…!

ブーン
ブーン
ブーン

んぎゅー!

ブーン

んぎゅー!
んぎゅー!

●REC

「……こんな化け物まで……っ」

な……っ

ぐっぐっ

ズズズズ

じゅわ



●REC

入ってこないでっ!

やめ……っ

ドン!

ドン!

うああっ

ガン
ガン

ズズズ

アハ



●REC



REC

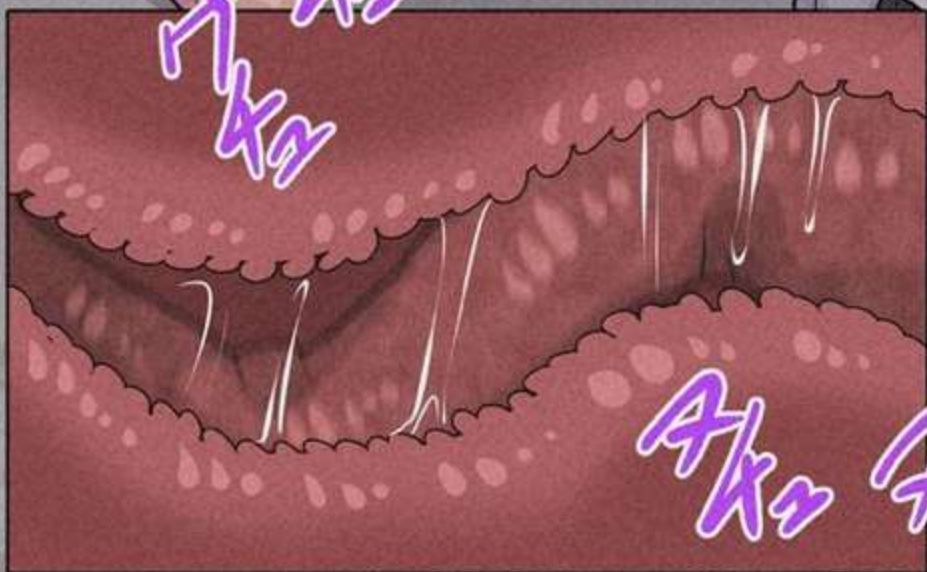
ク
ク
ク
ク
ク
ク

ひ
ひ
ひ
ひ
ひ
ひ

ひ
っ
い
い
っ
!

グ
グ
グ
グ
グ
グ

ア
ク
ア
ク



ア
ク
ア
ク

グ
グ
グ
グ

グ
グ
グ
グ



REC

…しばらく後

イ…イッて…る…

やめ…っ

ん…おっ

ほっ

アッ
アッ

グッ
グッ

グッ

ビッ
ビッ

ビッ
ビッ

ビッ

アッ
アッ
グッ
グッ





な...っ

な...っ

何...っ

な...っ

な...っ

ジルが次に目覚めた時、空が見えないような薄暗い場所にいた。そこが何処なのかはわからなかったが、身体を這いずる不快な感触で先ほどまで自分が置かれていた状況を思い出した。そして同時に、今自分が置かれている状況をこれ以上ないほどに理解することができた。



アハ

アハ

アハ

ま...またっ

アハ

ま...またっ

アハ

アハ

アハ

何匹いるのっ

アハ

アハ

アハ

ズズズズ





んんんんっ!

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



...
ツツツ
ツツツ

んおっ!
ツツツ

ツツツ
ツツツ

ツツツ

ツツツ

ツツツ

ツツツ



ハァァァ

ズンズン

ズンズン

ガクガク

...

...

ズズズ

この街の

いったいどこに

こんな化け物が……っ

ズズズ

ズズ

ジルが目覚めた時には気づかなかつたが、そこには巨大な影があった。ウイルスの影響で突然変異したミミズの成体とも言うべき姿、その巨体から繰り出される触手がジルの身体にきつく巻き付いていた。

REC

んんん

グ
グ
グ

んんん！

グ
グ
グ

んんん



REC



んんんっ!

んんっ!

グググ

グググ

ググ

ググ

REC

んんんっ

んんんっ

んんんっ!

んんんっ

んんんっ



REC

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんんん!



REC



REC



ジュンジュン

ガクガク

ソソ

フクフク
フクフク
フクフク

フクフク

フクフク

●REC

入らない…っ

身体に力が…

ギョウウ

んんんん

むあ

んんん



●REC

私を…どうするつもりなのっ

またお尻…に…っ

くっくっ

グッ

アッ

アッ!



REC

あ…頭の中に…っ

ズイ

ズイ

ズイ

ズイ

ズイ
ズイ

ズイ



REC



グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

ひきつ

グッ

グッ

グッ

グッ

●REC



おっ

おっおっ

おっ

フム
フム

スッ
スッ
スッ

スッ
スッ
スッ

スッ
スッ

スッ

スッ
スッ

●REC



お...あつ

ガッガッ

んおつ

ガッガッ

ガッガッ

ま…待って！

嫌っ！

私はまだ…っ

びん

グロアッ

化け物に犯され続けて体力を消耗させていたジルは、それでもあきらめずに脱出の機会を狙っていた。しかし無情にも、ジルの身体は化け物の口の中へと引き込まれていく。



REC

REC

ガッ

グッ

グッ

グッ

グッ

●REC

ズズズ

いっ……息……が……つ

ウッ!

ズズズ

ズズズ

ワッ
ワッ
ワッ

ズズズ



●REC



た…助け…てっ

ん…ん…ん

ん…ん…ん

ん…ん…ん

ん…ん…ん

●REC



んんんっ

あうっ...

んんんっ

スズン

グニッ

グニッ

グニッ

グニッ

スズン

●REC



んお...おっ

い...やあつ

や...

ぶっぶっ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぶっぶっ

ぶっぶっ

●REC





お……っ

グググ

グググ

ア……

グググ

え……

ジルが追跡者に捕らわれてから今まで、
 数時間が経過していた。
 ジルの居場所を知るものは居らず、助
 けも期待できない場所に捕らわれ、彼女
 は化け物の苗床と化していた。
 そしてこの時、街の上空には滅菌作戦
 を決行するために戦闘機が接近してい
 た。



が...

クッ
クッ
クッ

あ...っ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ





ああ……っ

ああ……っ

ズン
ズン

ズン
ズン

ズン
ズン

ズン
ズン

ズン
ズン

ズン
ズン



爆音が響き、地面が揺れていた。
 しかしシルが捕らわれたこの場所は
 崩れずに残り、幸か不幸か彼女は生き延
 びた。
 しかし彼女の意識は既に無く、その身
 体は時折反射でビクビクと跳ねるだけ
 の肉塊と化していた。

REC

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ

クワッ

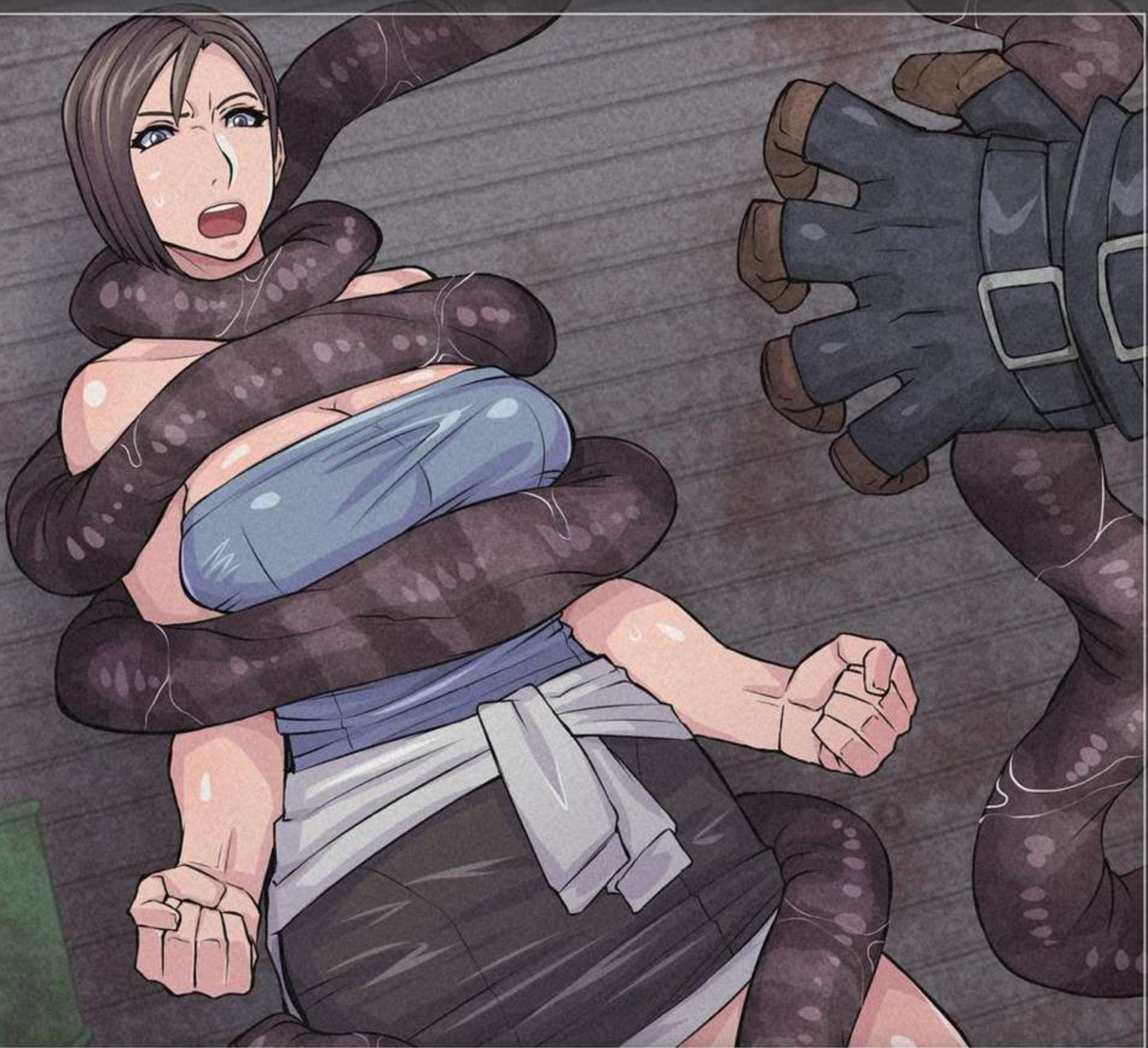
クワッ

END





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC



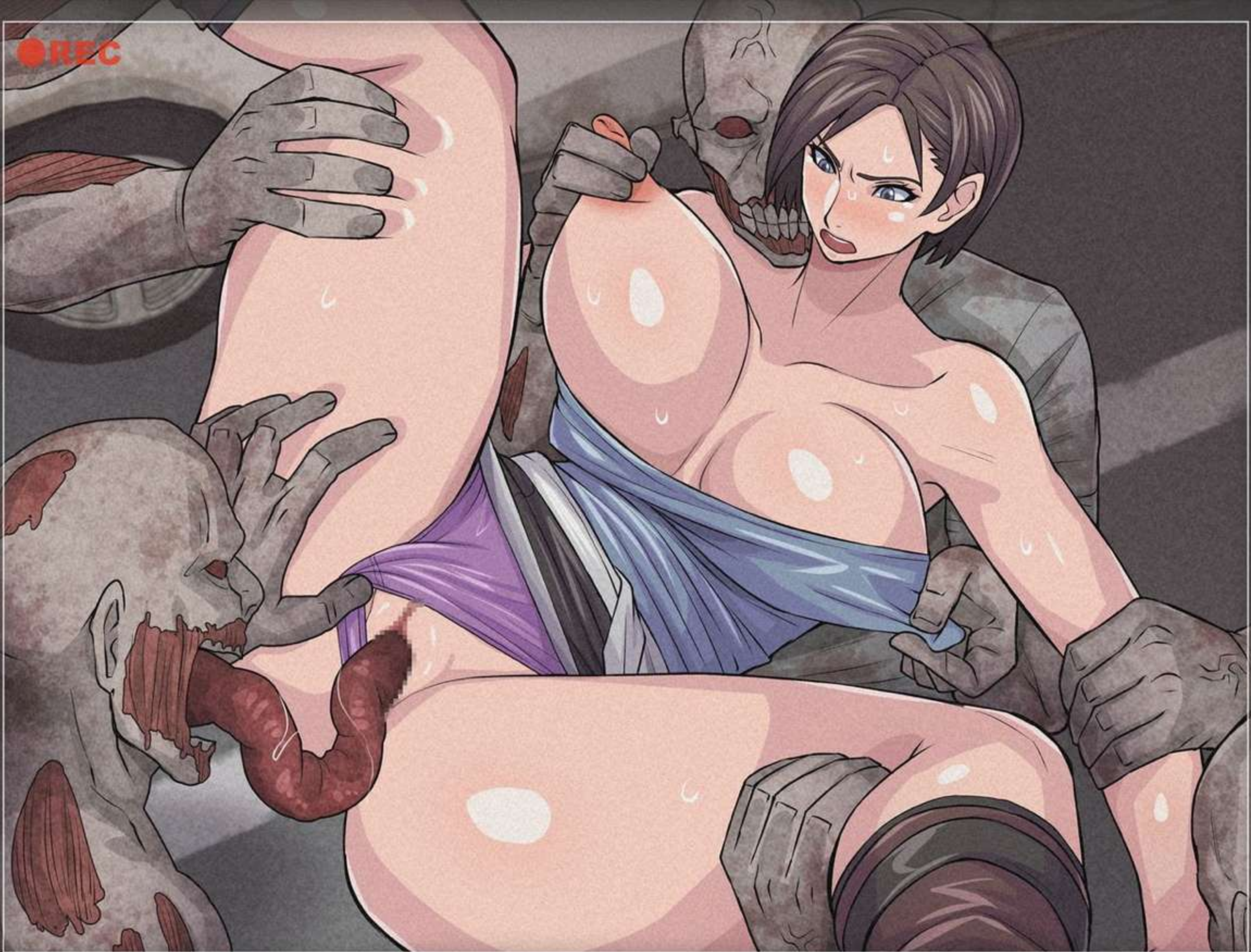


REC

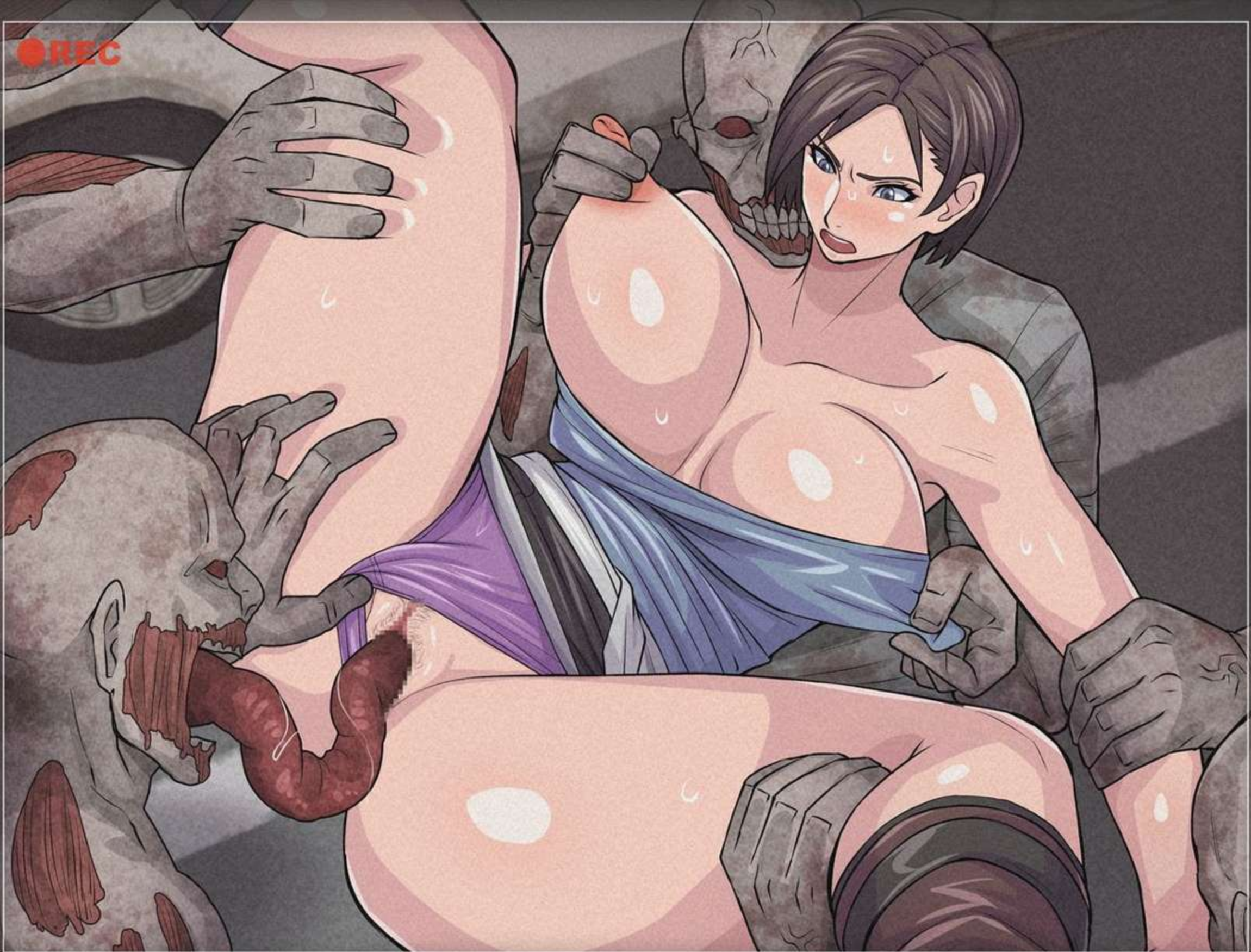




REC









REC





REC



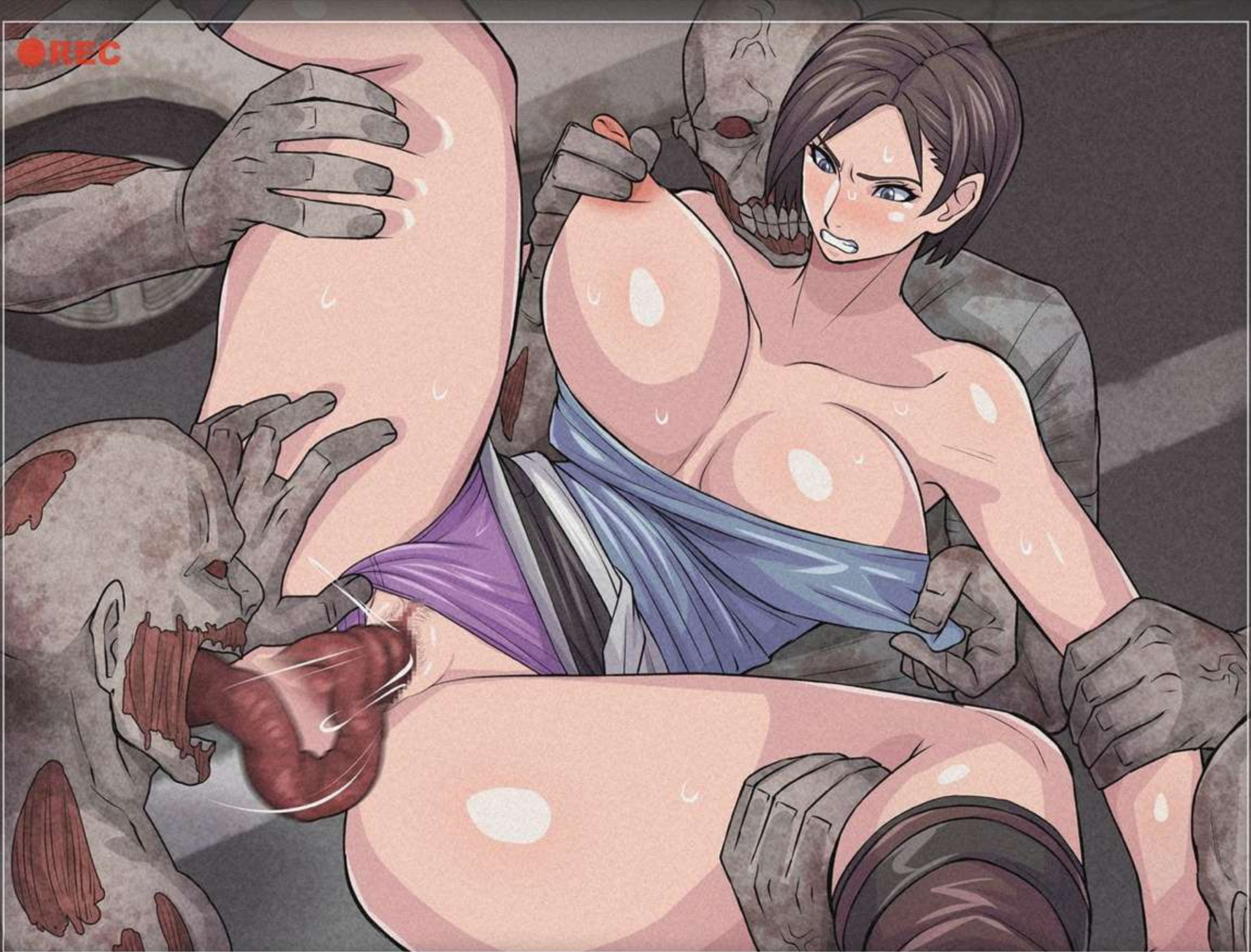


REC





REC





REC





REC









REC





REC









REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC



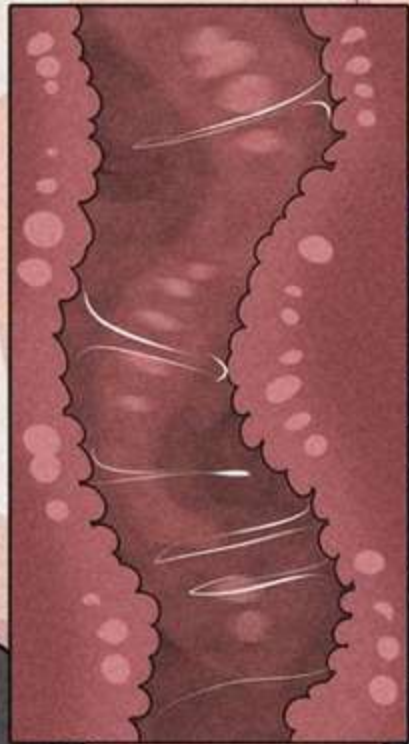


REC





REC





REC





REC



REC













































REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC



















































ONEC



























































REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





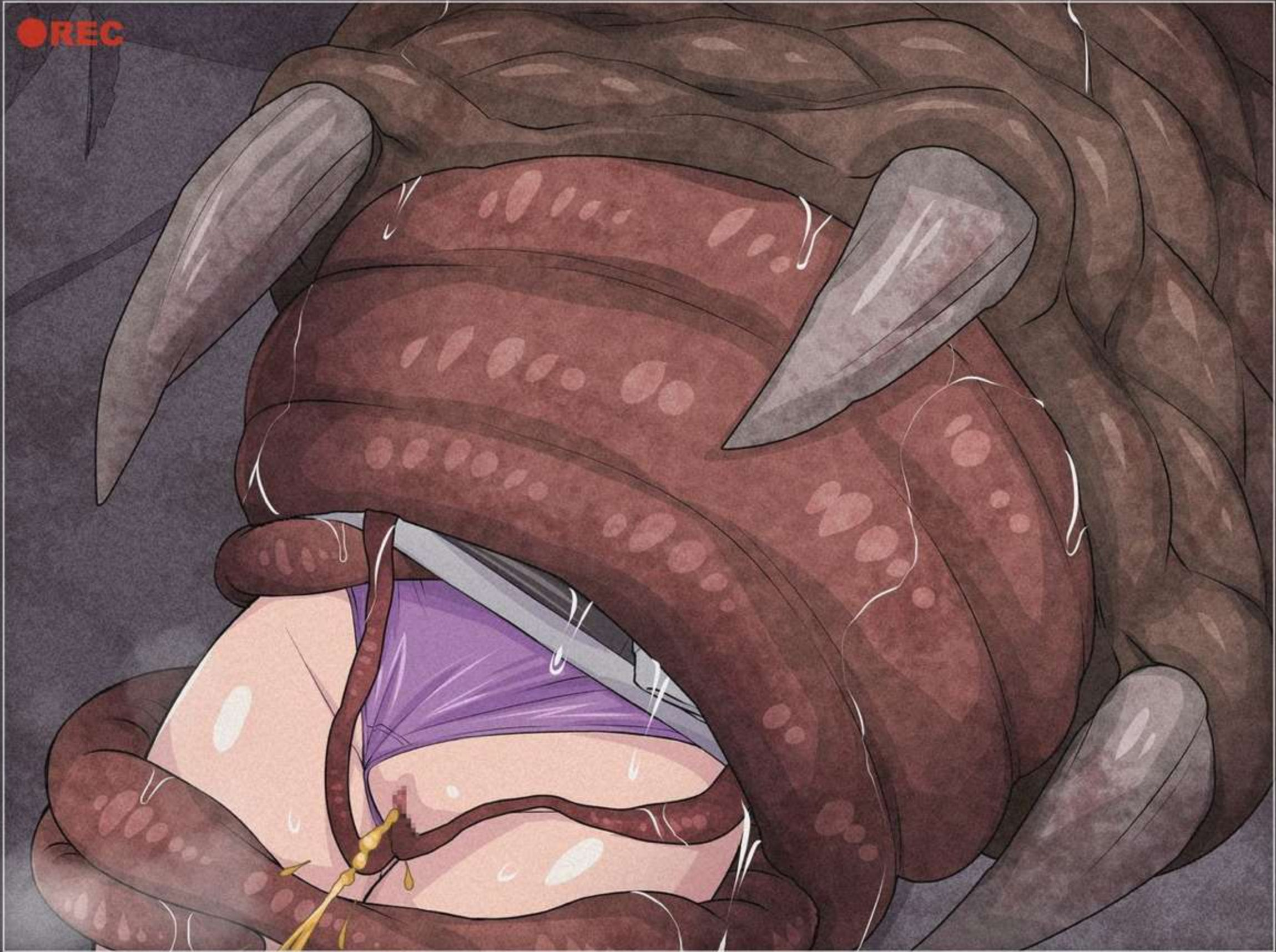




REC













●REC





●REC





●REC





●REC





●REC





●REC





●REC





●REC





●REC





●REC

























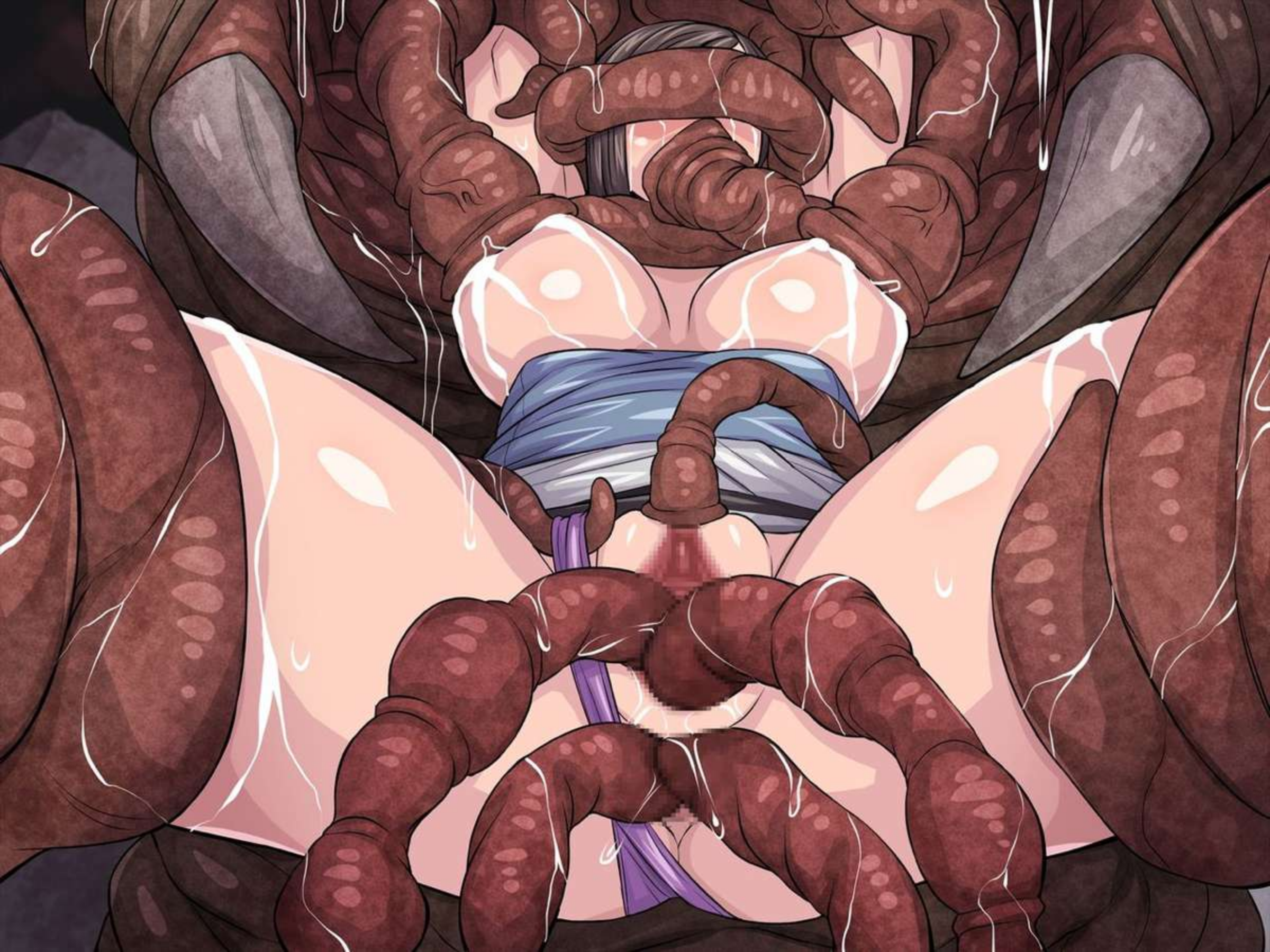




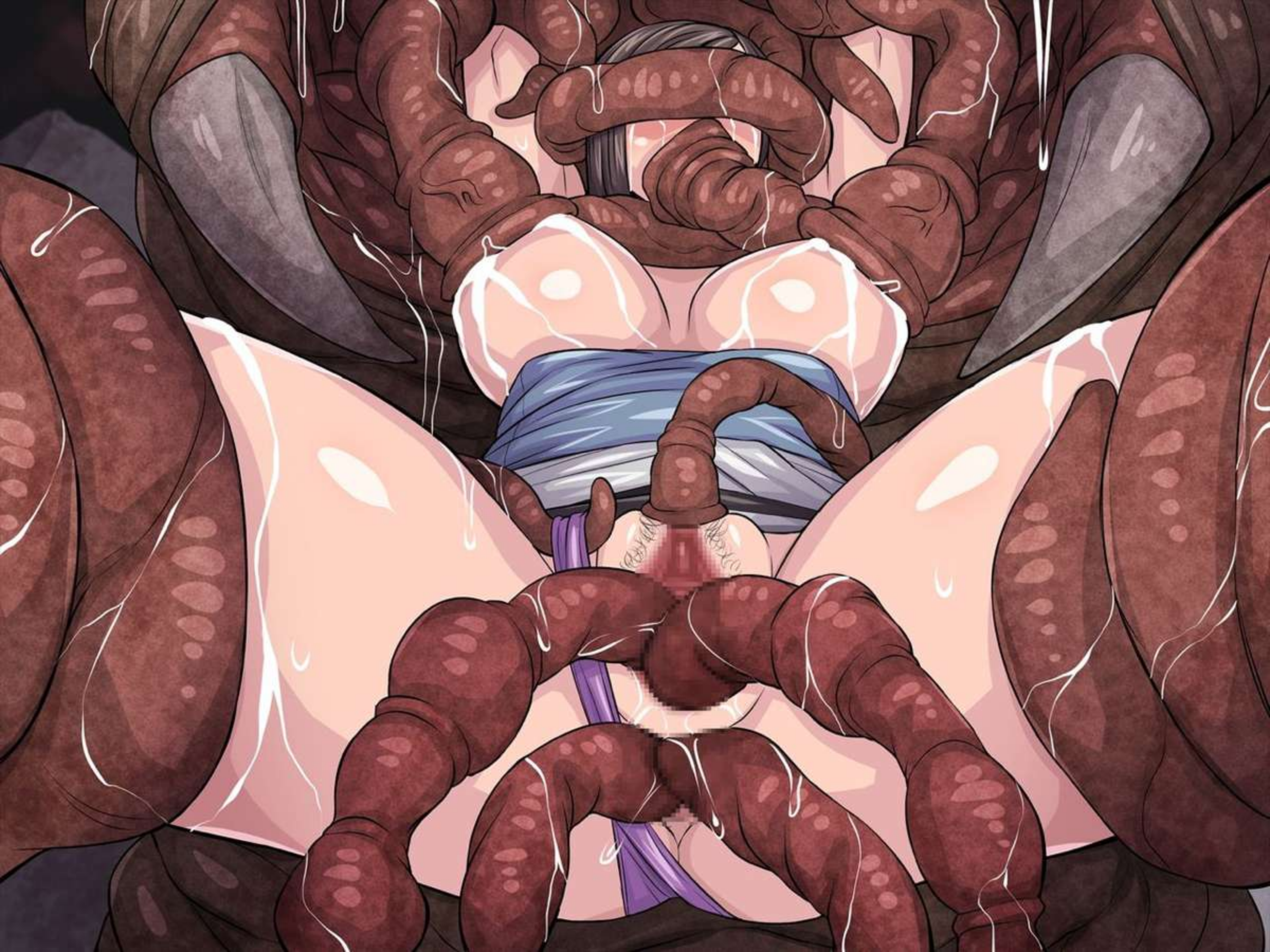








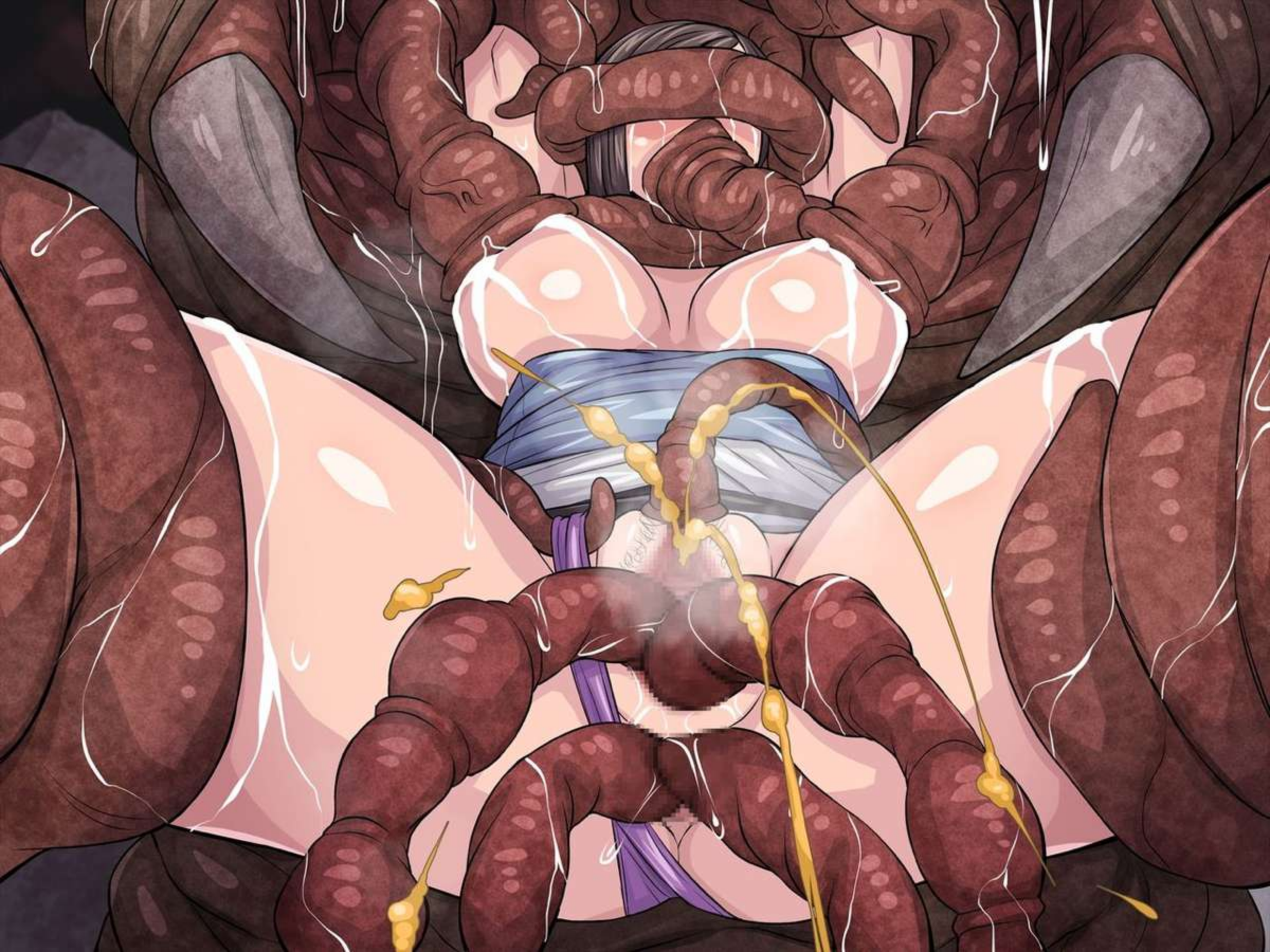








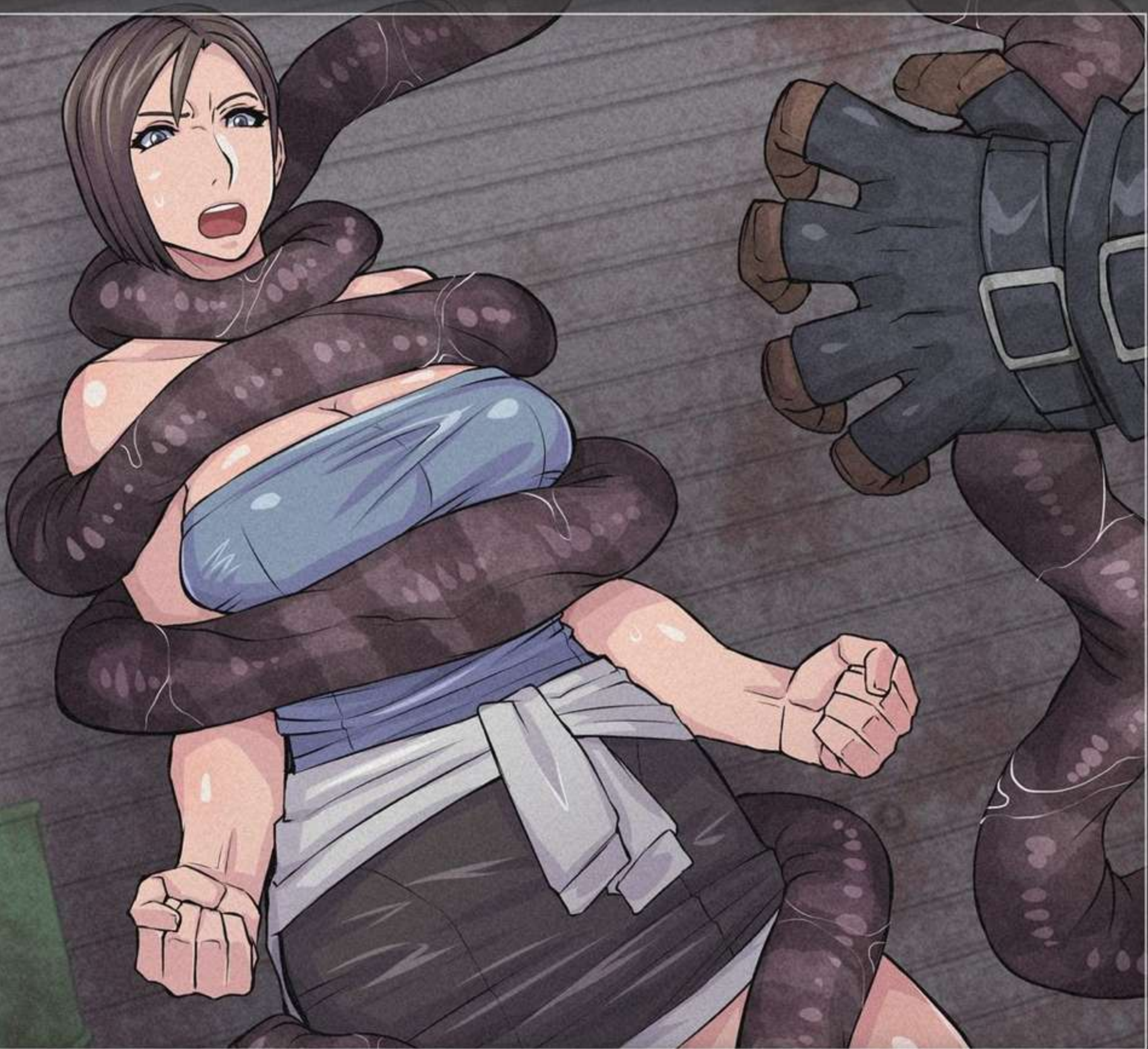








REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC







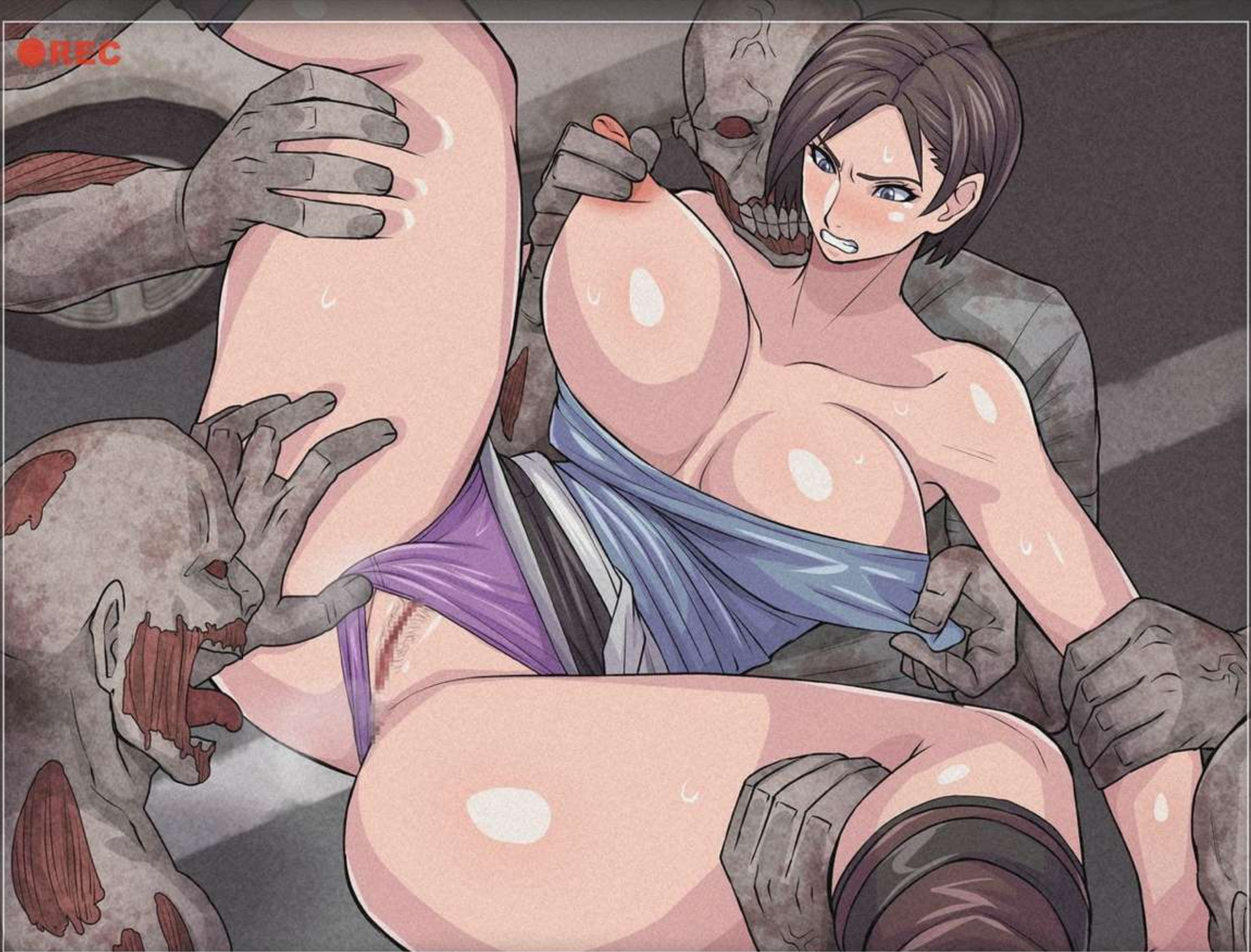


REC





REC





REC



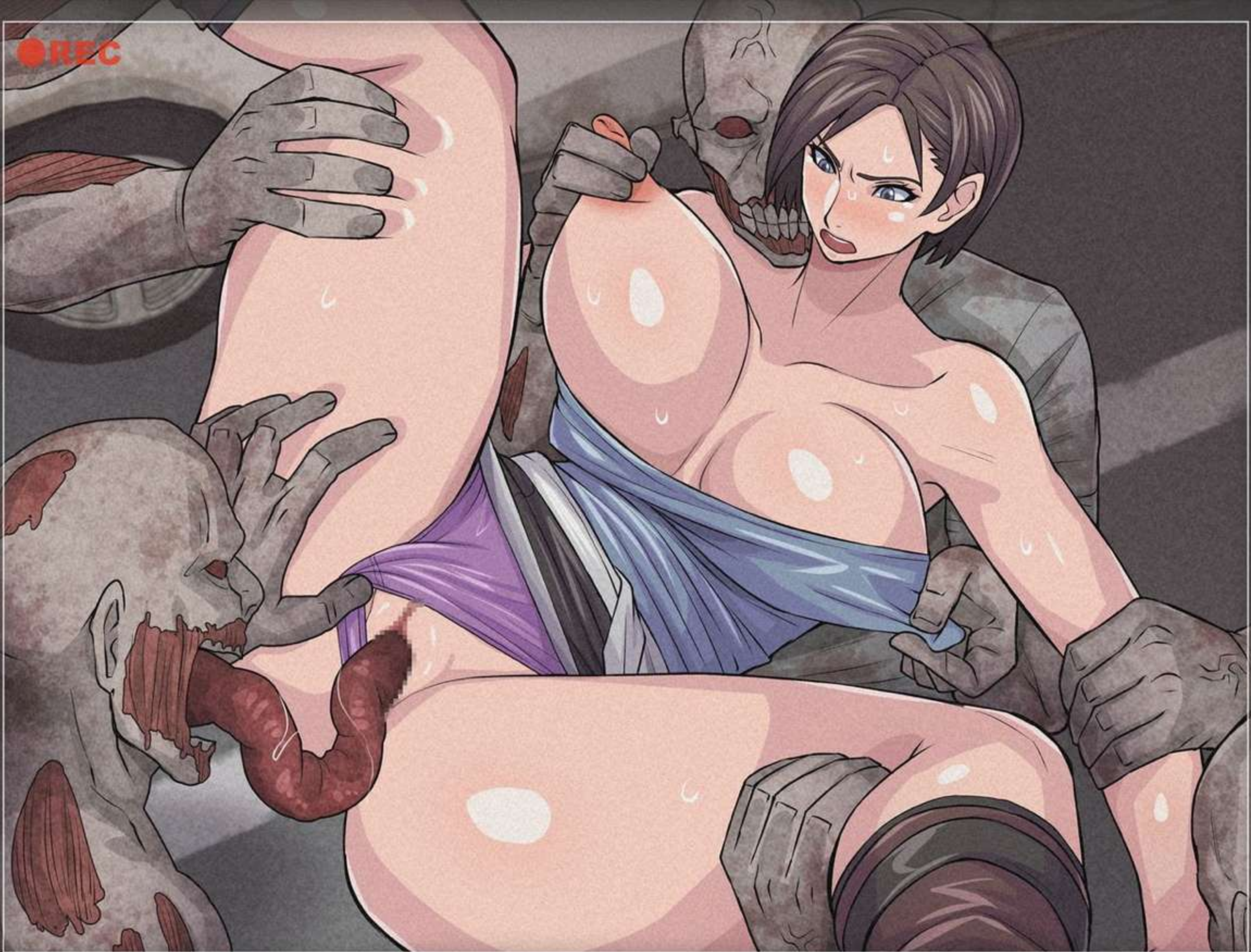


REC



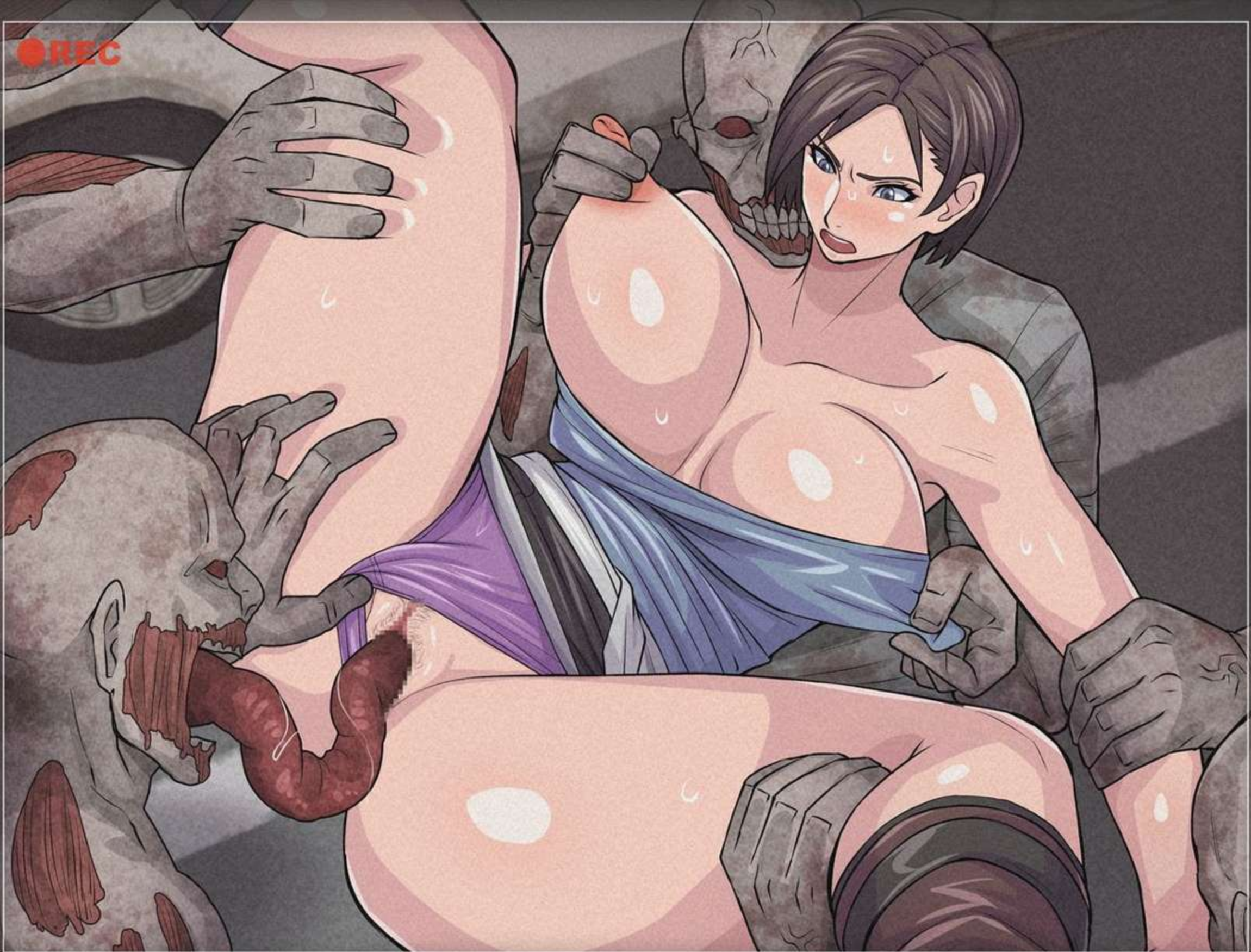


REC





REC





REC





REC

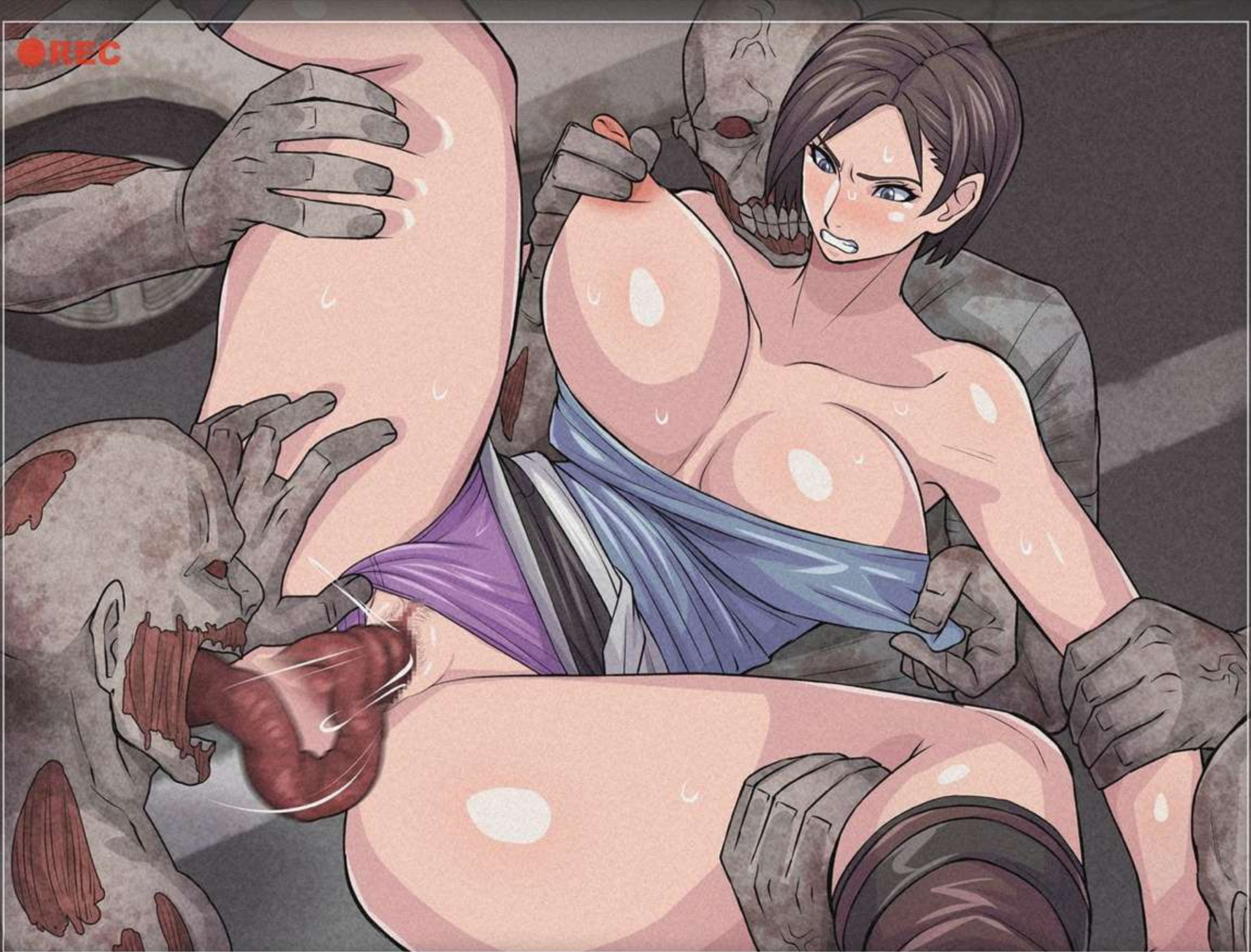








REC





REC





REC









REC





REC









REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC



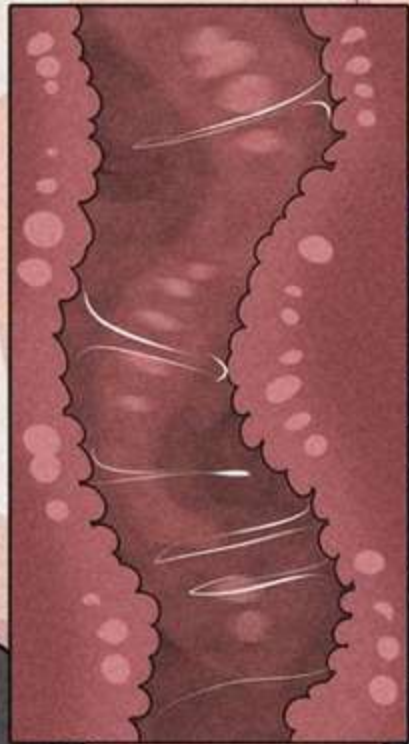


REC





REC





REC





REC





REC













































REC





REC





REC





REC





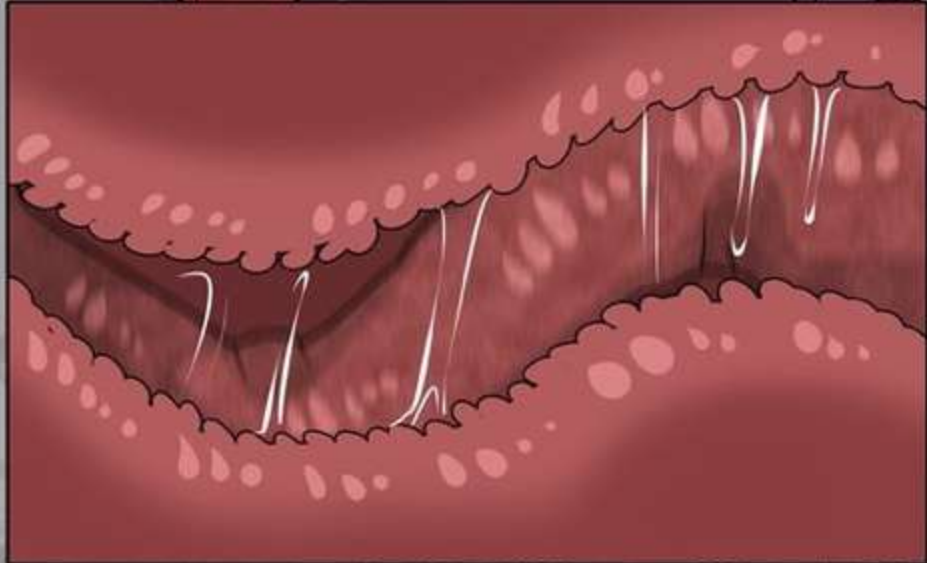
REC





REC





REC





REC





REC





REC













































































































REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





REC





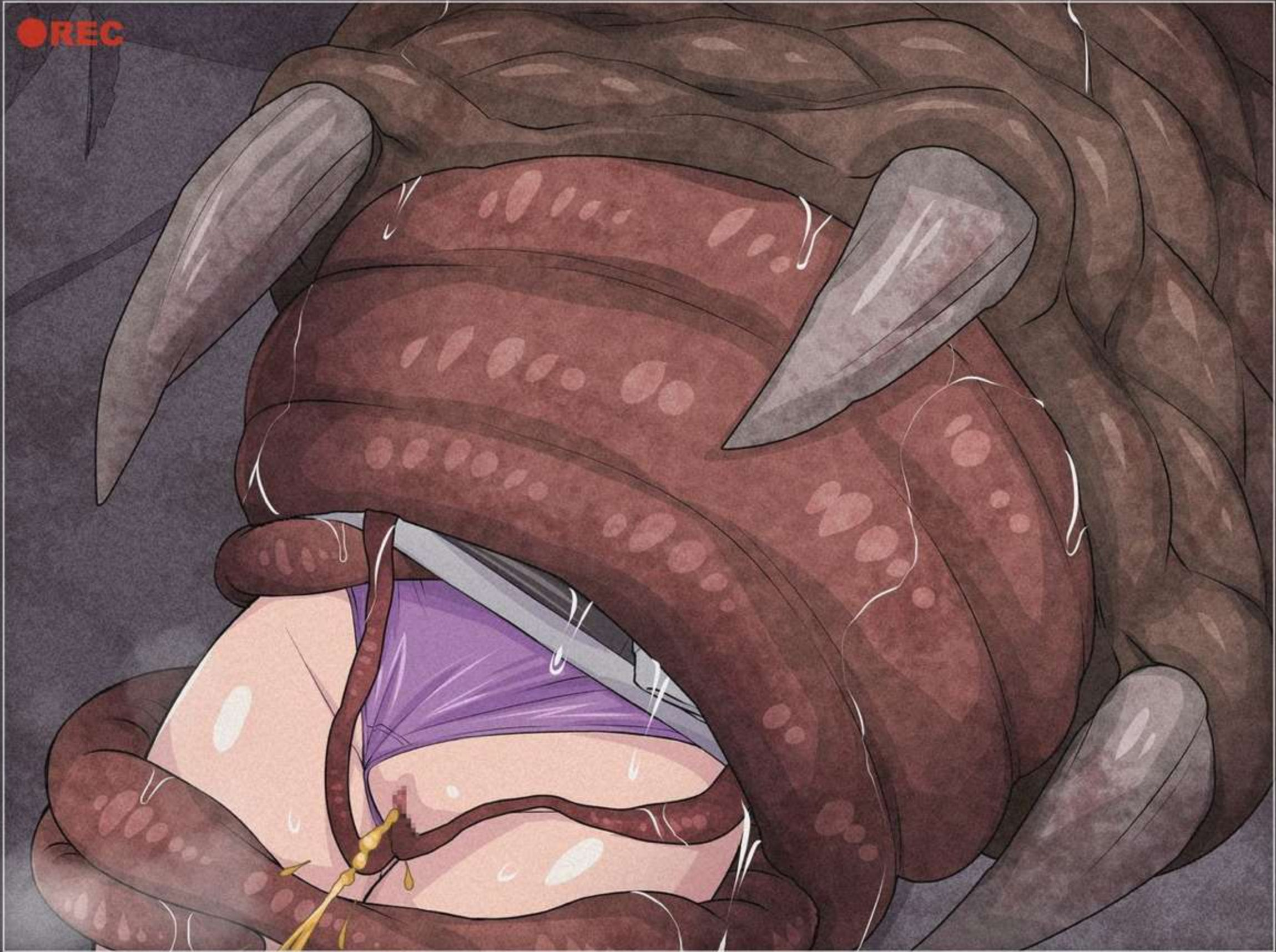




REC













●REC





●REC





●REC





●REC





●REC





●REC





●REC





●REC





●REC





●REC































SHEN





